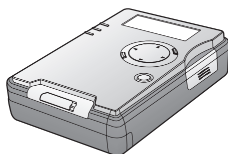
Panasonic



SDメディアストレージ

取扱説明書

品番　ＳＶ－ＰＴ１



保証書別添付



MultiMediaCard™

このたびは、SDメディアストレージをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

・この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
・保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

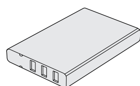
主な特長

- 小型・軽量の携帯性に優れたメディアストレージ
- 大容量 5 GB HDD 搭載で静止画をたっぷり保存できる
- ご家庭だけでなく、出先でも静止画をテレビで再生でき、削除・複写などの編集ができる
- USB インターフェースを搭載し、パソコンと接続することで外部ドライブとして使用できる
- 各種カード*1の静止画を再生確認でき、SD メモリーカードへデータコピーできる

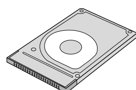
*1 各種カードに応じたアダプターが必要です。

付属品

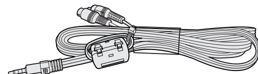
・バッテリーパック
VW-VBA20



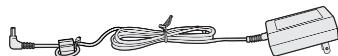
・PC Card HDD
RP-PH005A



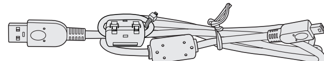
・映像ケーブル
LSEC0003



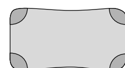
・AC アダプター
VSK0625C



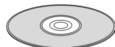
・USB ケーブル
LSEC0004



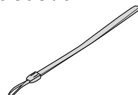
・PC Card HDD
専用ケース
LSFC0020



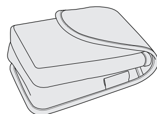
・CD-ROM
VFF0180



・ハンドストラップ
VFC3803



・キャリングケース
LSFC0019



もくじ

はじめに

準備

コピーモードで使う

テレビモードで使う

パソコンモードで使う

その他

安全上のご注意　（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される危害の程度」です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。



危険

■バッテリーの充電は専用のAC アダプターを使う



発熱・発火・破裂につながります。

●バッテリーを指定以外の機器に使わないでください。

■バッテリーは火のそば、炎天下など高温な場所で使用・放置しない



禁止

発熱・発火・破裂につながります。

⚠ 危険

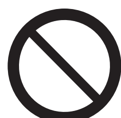
■バッテリーを加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない


禁止

発熱・発火・破裂につながります。

●不要（寿命）になったバッテリーについては、10ページの“バッテリーに関すること”をご参照ください。

■バッテリーの端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

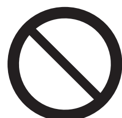

禁止

発熱・発火・破裂につながります。

●持ち運ぶときはビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

⚠ 警告

■AC アダプターやコード類を破損させない


禁止

無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、コードの破損の原因となり、火災・感電につながります。

●破損したときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

■AC アダプターは根元まで確実に差し込む



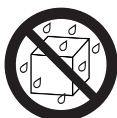
接触不良で火災・感電につながります。

●傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
●AC アダプターは時々点検してください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）


警告

■水をかけたり、ぬらしたりしない



内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

水ぬれ禁止

● 水が入ったときは、販売店にご相談ください。

■ぬれた手で、AC アダプターを抜き差ししない

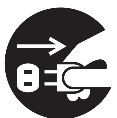


感電につながります。

ぬれ手禁止

● 必ず、乾いた手で持ってください。

■煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、AC アダプターを抜く

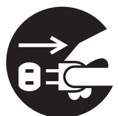


火災・感電につながります。

AC アダプターを抜く

● バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
● 販売店にご相談ください。

■内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、AC アダプターを抜く



火災・感電につながります。

AC アダプターを抜く

● バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
● 販売店にご相談ください。



警告

■交流100ボルト～240ボルト以外では使わない。また、配線器具の仕様をこえる使い方をしない


禁止

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

■ACアダプターのほこり等は定期的にとる



湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

- プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- プラグは時々点検してください。

■雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターのプラグにふれない


接触禁止

感電の原因になります。

■ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない


禁止

落下すると、けがや製品の故障につながります。

■内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない


禁止

火災・感電・故障の原因になります。

- 乳幼児にご注意ください。

■分解や改造をしない


分解禁止

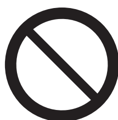
火災・感電・故障につながります。

- 修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

安全上のご注意　（必ずお守りください）

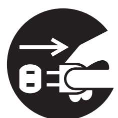


■高温になるところに放置しない


禁止

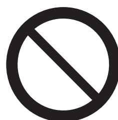
特に真夏の車内、車のトランクの中は想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やバッテリーを絶対に放置しないでください。熱で外装が変形し内部部品が破損すると火災・感電のおそれがあります。

■お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、AC アダプターを抜く


AC アダプターを抜く

誤って内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながるおそれがあります。（メモリーカード保護のため、メモリーカードも取り出しておいてください。）

■湯煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わない

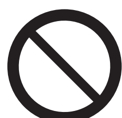

禁止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電のおそれがあります。

- 3年に一度くらいは、販売店に点検をご相談ください。（特に湿度が高くなる梅雨時期の前に点検をすると、効果的です）
- 費用についても、そのときお確かめください。

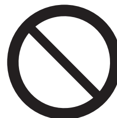

注意

■指定以外の電池を使用しない


禁止

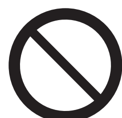
発熱・発火・破裂につながります。

■充電中や使用中は、機器の上に布などをかぶせない


禁止

熱で外装が変形し、内部部品が発熱すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

■本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない


禁止

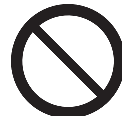
重量で外装が変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

■ケーブルが張った状態で使わない


禁止

ケーブルにつまづいて、転倒や機器が損傷するおそれがあります。

■ACアダプターのコードを持って抜かない


禁止

コードの破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。

●必ず、ACアダプター本体を持ってください。

■付属のUSBケーブルを指定の端子以外に装着しない


禁止

ケーブルや機器の破損の原因となります。

●必ず、USBケーブルを装着する前に、パソコン側の端子がUSB用であることを確認してください。

使用上のお願い

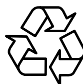
故障・誤動作やデータが破壊・消失したりする原因となりますので、以下の文をよくお読みのうえ、十分気をつけてお使いください。

・直射日光があたるところ、閉めきった自動車内や極端に暑かったり寒かったりする場所や暖房器具付近に置かないでください。また、急激な温度変化を与えないでください。
・磁気や電磁波が発生するところ（電子レンジ、ゲーム機、携帯電話など）からはできるだけ離れて使用してください。磁気や電磁波の影響で記録が損なわれたり画像がゆがんだりする場合があります。
・周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけないでください。外装ケースが変質したり、塗装がはがれるおそれがあります。
・ほこりの多いところでの使用・保管はしないでください。
・振動や衝撃を与えたり、振りまわしたり、落としたりしないでください。
・本機に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。
・強い力で押したり、ひねらないでください。
・ケーブルは正しく接続してください。
・付属のバッテリーや適合するカード以外は挿入しないでください。
・半年に一度くらいは本機の電源を入れ、動作させてください。
・使用後は電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いておいてください。
・お手入れの際は、バッテリーを外し、AC アダプターをコンセントから抜いてください。また、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使用しないでください。変質・変形・変色の原因となります。本機は、やわらかい乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞って汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。

バッテリーに関すること

・長時間使用しないときは必ずバッテリーを外してください。バッテリーをつけたままにしておくと電源を切っていても絶えず微小電流が流れています。そのままにしておくと過放電になり充電しても使用できなくなるおそれがあります。
・バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。
・バッテリーは涼しくて湿度が低く、温度がなるべく一定のところに保管してください。極端に低温・高温のところに保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
・長期間保管する場合、1 年に1 回は充電し充電容量を使い切ってから再保管することをおすすめします。
・バッテリーには寿命があります。
・不要(寿命になったなど）バッテリーは火中に投入しないでください。破裂するおそれがあります。

不要になった充電式電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
・使用済みの充電式電池（バッテリー）は、お買い上げの販売店または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へご持参ください。もしくは、（社）電池工業会にご確認ください。（ホームページ：http://www.baj.or.jp）
・使用済み充電式電池（バッテリー）は、端子部をセロハンテープなどでおおい、分解しないでリサイクル箱へ。



Li-ion
リチウムイオン電池使用

カードのデータ保護に関すること

（対応カードについては１２ ページをご参照ください）

・本機の動作中にＡＣ アダプターを抜いたり、本機をパソコンと接続中にＵＳＢ ケーブルを抜かないでください。
・カードへのアクセス中はカードを取り出さないでください。
・カードをフォーマットする場合は、保存されている内容を確認してください。フォーマットを行うとカードに保存されている情報はすべて消えます。
・メモリーカード裏の端子部にはふれないでください。
・電気ノイズや静電気、本機やカードの故障などにより、カードが壊れたり、データが消失することがありますので、大切なデータはパソコンにも保存しておくことをおすすめします。
・保存しているデータは、万一故障が起こったり、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップを取って保存してください。保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
・ＳＤ メモリーカード、メモリースティック、スマートメディア、一部のＣＦ カード（ＰＣ カードスロット使用時）には書き込み禁止機能がついています。機能させておくと、メモリーカードへの書き込みやデータの消去やフォーマットができません。

PC Card HDD の取り扱いに関すること

PC Card HDD は、精密小型のハードディスクドライブですので取り扱いには十分注意してください。故障、誤動作、記憶内容が消失してしまうことがないよう、以下の点にご注意ください。

・振動や衝撃を与えないでください。
・温度差の激しい場所（1 時間に１５ ℃以上の温度変化が発生する場所）では使用しないでください。本機を寒い所から暖かい所、または暖かい所から寒い所へ急に移動させたとき / 冬場での急激な暖房時や夏場の急激な冷房時 / 冷房の風が本機に直接当たっている時などでは「つゆつき」が起こる場合があります。「つゆつき」が起こったまま使うと、ＨＤＤ に傷が付き故障の原因になります。「つゆつき」が起こった場合は、本機の電源を切り、PC Card HDD を取り出してから４ 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじみ「つゆつき」がなくなったのを確認してからお使いください。
・PC Card HDD の本体をひねったり、ラベル面を押したりしないでください。また先の固いペンなどでラベルに記入しないでください。PC Card HDD の破損の原因になることがあります。本体を持つときは、外側の端を持つようにしてください。
・PC Card HDD に貼ってあるラベルをはがさないでください。保証やその他のサービスが受けられなくなります。
・PC Card HDD を専用ケースから取り出す時は、必ずケースの「PC Card HDD」マークを上にして開けてください。下にして開けるとケースから PC Card HDD が落ち、故障の原因となります。
・PC Card HDD を持ち運びの際は、専用ケースをご使用ください。
・PC Card HDD の破壊・損傷・データの破壊などについては一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

スキャンディスクに関すること

(Windows 2000/XP は“チェックディスク”といいます。)

・カードに振動や衝撃を与えたり、動作中に電源を切ったりカードを抜いたりするとデータが読めなくなることがあります。その時は、ただちにパソコンにてスキャンディスクをかけてください。（付属の PC Card HDD は数時間かかります。）その後データのバックアップをとることをおすすめします。パソコンとの接続に関しては４４ ページをご参照ください。スキャンディスクの方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

ご使用になる前に

・撮影、プリントされたものは、個人として楽しむ以外は著作権権利者に無断では使用出来ません。
・SD:SD ロゴは商標です。
・Microsoft® Windows® PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
・その他、本書に記載されている各種名称、商品名、会社名などは各社の商標または登録商標です。
・本製品に付属するソフトウェアを、無断で複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
・本書ではSDメモリーカードとマルチメディアカードを「メモリーカード」と記載します。
また、メモリーカードを含めPC Card HDD、各種PCカードを「カード」と記載します。
・Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITIONを、Windows 98SEと記載します。
・Microsoft® Windows® 2000 Professionalを、Windows 2000と記載します。
・Microsoft® Windows® Millennium Editionを、Windows Meと記載します。
・Microsoft® Windows® XP Home Editionまたは・Microsoft® Windows® XP Professionalを、Windows XPと記載します。

対応カードについて

本機で使用できるカードは次のようになっています。

PC カードスロット

・PC Card HDD(2 GB、5 GB)
・SD メモリーカード*1
・マルチメディアカード*1
・マイクロドライブ*1
・メモリースティック*1
・スマートメディア*1
・CF カード*1

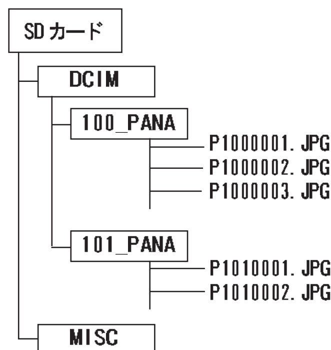
*1 PCMCIA Type Ⅱおよび、同サイズに変換するATA互換アダプターが別途必要です。

SD メモリーカードスロット

・SD メモリーカード
・マルチメディアカード

フォルダー構成について

DCF 規格に準拠したデジタルカメラのフォルダー構成は特定のフォルダー構成をもっており以下に例を示します。また、これらのフォルダーを消去したりフォルダー/ファイル名を変更すると、デジタルカメラで読めなくなります。



DCIM フォルダー
デジタルカメラが自動的に作成。

100_PANA フォルダー
3 桁のフォルダー番号と5 文字の自由文字で構成されており、このフォルダー内にデジタルカメラの画像ファイルを格納。

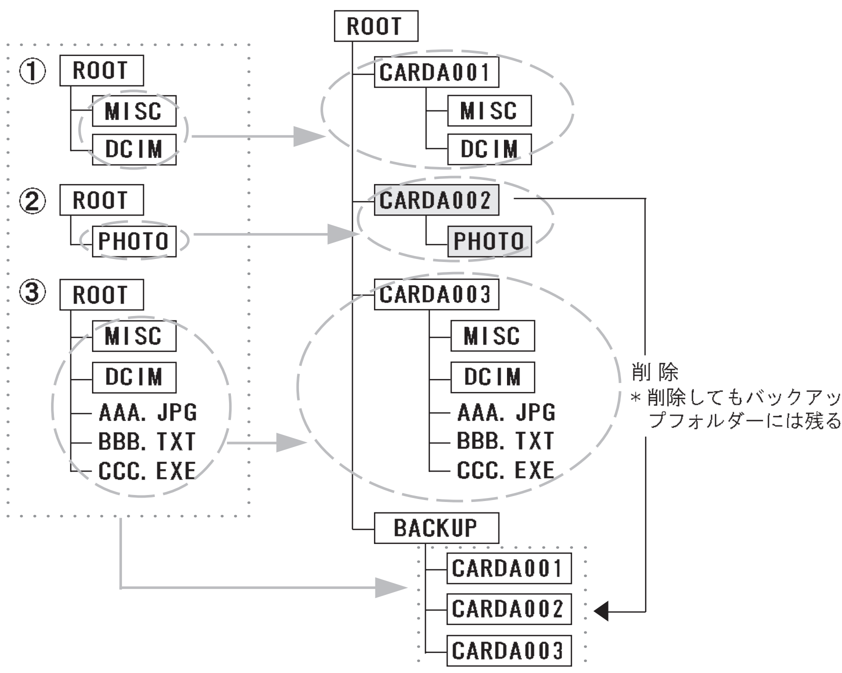
P1000001.JPG：DCF ファイル
4 文字の自由文字と4 桁のファイル番号で構成されており、デジタルカメラで撮影された画像ファイル（通常はJPEG ファイル）。（拡張子がTIF・THM、およびそれ以外の場合もあります）

MISC フォルダー
画像にプリント/スライド情報などを付加するDPOF 設定ファイルを格納するフォルダー。

コピー・バックアップについて

メモリーカード⇒PC Card HDDの場合

メモリーカードからPC Card HDDへコピーする場合は、コピー毎に「CARD****」というフォルダーを生成し、そのフォルダー内にメモリーカードの内容を保存します。
バックアップ　オン時には、上記「CARD****」フォルダーをPC　Card　HDD内の「バックアップ」フォルダー内にも生成し、メモリーカードの内容をコピーします。そのため、PC Card HDDの利用可能領域が半分になります。バックアップ　オン/オフの設定については、22ページをご参照ください。



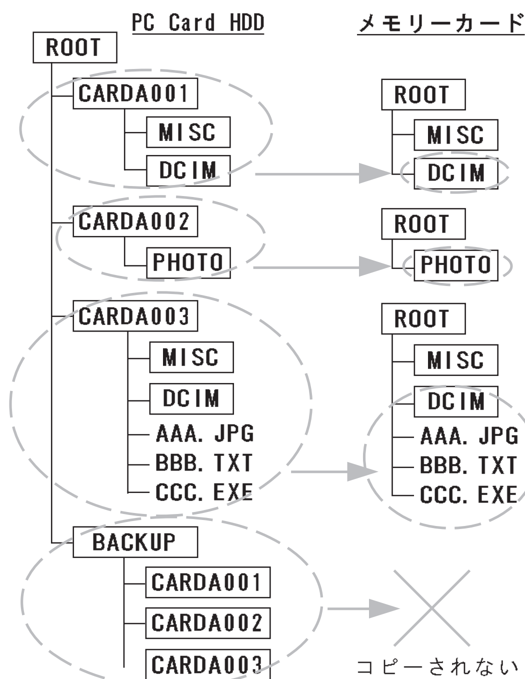
“PC Card HDD⇒メモリーカードの場合”は、
次ページをご参照ください。

メモ
・バックアップフォルダーは、テレビモードでは確認できません。パソコンで確認してください。
・セキュアファイル（著作権を含む音楽ファイル）はコピーされません。
・「CARD****」フォルダーの「****」は、「A001～A999、B001～Z999」まで番号順に自動的に付与されますので、ファイル名の変更はしないでください。

コピー・バックアップについて（つづき）

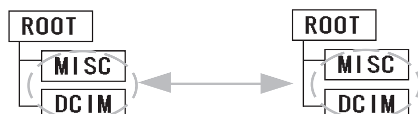
PC Card HDD ⇒メモリーカードの場合

PC Card HDD からメモリーカードへコピーする場合は、「CARD****」というフォルダーが消え、ファイル構造に従ったルールにてコピーされます。



メモリーカード⇔ PC カードの場合

PC カードからメモリーカードへ、またはメモリーカードから PC カードへコピーする場合はカードの内容を直接コピーします。



・PC Card HDD 以外のカードはこの動作をします。

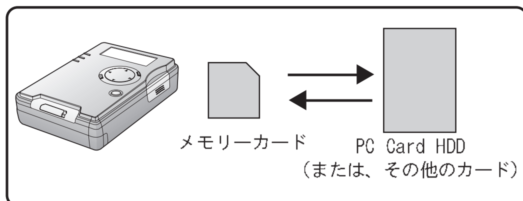
メモ

- バックアップフォルダーの中身は、テレビモードでは表示されません。パソコンでコピー・編集・削除ができます。
- セキュアファイル（著作権を含む音楽ファイル）はコピーされません。
- メモリーカードへのコピー時には、デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどの DPOF 設定できる機器で DPOF の再設定を行ってください。詳しくはお使いのデジタルカメラやデジタルビデオカメラの取扱説明書をご参照ください。
- コピー先に MISC フォルダーがない場合は、MISC フォルダーもコピーされます。
- DCIM フォルダーについて、例えば、「100_PANA」フォルダーをコピーする場合、コピー先にすでに「100_PANA」フォルダーがあれば、「101_PANA」というフォルダー名に変えてコピーを実行します。
- DCIM フォルダー以外で、「上書き」が発生する場合には確認メッセージが出ます。

選べる３つのモード

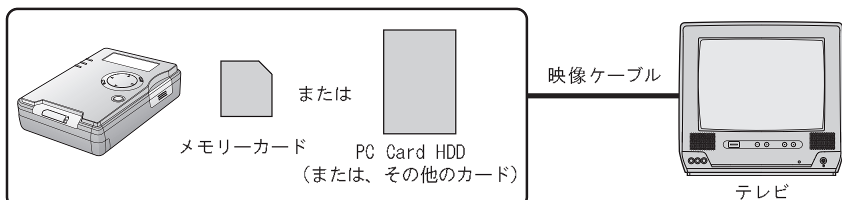
コピーモード（P.21～25）

コピーモードでは、挿入されたカードからカードへデータをコピーします。
また、メニューボタンを押すことにより、カード容量の確認やバックアップおよびテレビ方式の設定、カードのフォーマットなどをします。



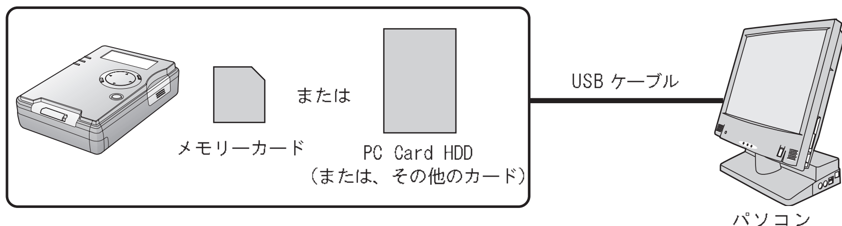
テレビモード（P.26～43）

テレビモードでは、本機をテレビに接続し、カードの中のデータをテレビ画面で再生・編集（コピー・消去・プロテクト・ズーム・回転・色効果など）します。
＊画像ファイル（JPG, TIF, MOV）以外のファイルは表示できません。その他のファイルを表示させるにはパソコンモードで行ってください。



パソコンモード（P.44～51）

パソコンモードでは、USB ケーブルを使って本機をパソコンに接続することにより、本機を外部ドライブとしてカードの中のデータを編集（コピー・消去など）したり、付属のアプリケーションを使ってプレゼンテーション用のファイルを作成します。



各部の名称とはたらき

上面

液晶ディスプレイ
動作モードを表示します。（テレビモード、コピーモード）
・コピーモードで、バッテリー残量表示、データ転送経過、各種メニューを表示します。（☞ P. 20～25）
・USB ケーブル接続時にカード選択画面を表示します。（☞ P. 46）

ハンドストラップ取付部
ハンドストラップを取り付けます。（☞ P. 17）

カーソル（▲▼◀▶）ボタン
上下左右に移動します。

電源ランプ
電源が入ると点灯します。
充電中は点滅します。

メニューボタン
メニューを表示/解除します。

SD ランプ
SD メモリーカードまたはマルチメディアカードにアクセス中に点灯します。

SDメモリーカード挿入口
ここを開いてSDメモリーカードまたはマルチメディアカードを出し入れします。（☞ P. 19）

HDD ランプ
PC Card HDD またはPCカードにアクセス中に点灯します。

電源ボタン
2秒以上押すと、電源が入/切します。

セットボタン
操作を実行します。

キャンセルボタン
スライドショーやプレゼンテーションを中止します。

リセット機能
キャンセルボタンと電源ボタンを同時に5秒間押し続けると本機をリセットします。（☞ P. 55）

PC Card HDD(PCカード)挿入口
レバーをスライドして扉を開け、PC Card HDD またはPCカードを出し入れします。（☞ P.19）

ON
SD
HDD
MENU
SD CARD
CANCEL
⏻/SET
HARD DISK DRIVE
OPEN

左側面

HDD SAFETY 切り替えスイッチ
ON/OFF を切り替えます。（☞ P. 20）

COPY/TV MODE 切り替えスイッチ
コピーモード・テレビモードの切り替えをします。（☞ P. 21, 26）

バッテリー挿入口
バッテリーを挿入します。

OFF ON
HDD SAFETY
COPY TV
MODE
BATTERY OPEN

後側面

USB 端子
USB ケーブル（付属）でパソコンと接続すると、外部機器として使用できます。（☞ P. 44～51）

S/V 出力端子
映像ケーブル（付属）で、テレビのS映像または映像端子と接続すると、テレビで画像を見ることができます。（☞ P. 26）

端子カバー
各端子を保護します。

USB
S/V OUT
DC IN

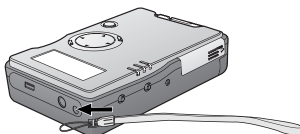
HDD SAFETY検出スイッチ
本体を持ち上げると突起が出て、HDD が止まり、動作が中断します。（☞ P. 20）

DC 入力端子（電源）
AC アダプター（付属）を接続し、電源を供給します。（☞ P. 18, 26, 44）

持ち運ぶときには

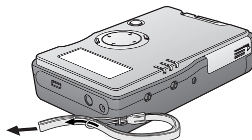
ハンドストラップを付ける

1 ハンドストラップの先端をストラップ取り付け部に通す



2 ハンドストラップの反対側を輪の部分に通す

3 矢印の方向に引っぱる



✷お願い✷
・本機は、精密機器ですので、持ち運び時にはブラブラさせないように十分注意して、落としたり衝撃を与えたりしないでください。

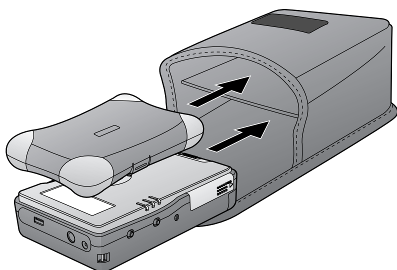
キャリングケースに入れる

1 キャリングケースを開ける

2 仕切りの下側に本体を入れる

3 仕切りの上側にPC Card HDDのマークを上にして専用ケースを入れる

4 キャリングケースを閉じる

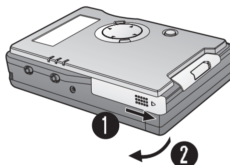


✷お願い✷
・持ち運びのときは、本機の電源を切りPC Card HDDを専用ケースに入れ、キャリングケースに収納してください。

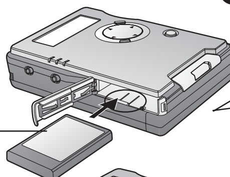
バッテリーを充電する

バッテリーの充電はバッテリーを本機に取り付け、付属のACアダプターを使用して充電します。**充電時は、本機の電源を切っておいてください。電源を入れると充電は中断されます。**

1 バッテリーカバーをスライドさせて開ける

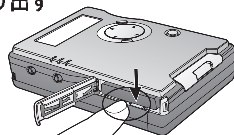


2 矢印の方向につまみの奥までバッテリーを入れる
（ラベル面を上に）



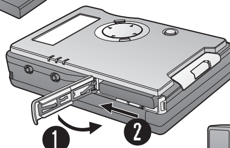
バッテリーを取り出すときは

つまみを手で押し下げて取り出す

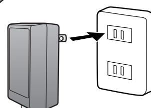


つまみ

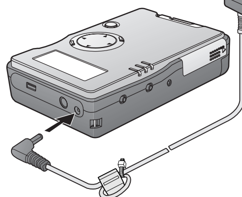
3 カバーを閉じる



4 ACアダプターのDCプラグを本機のDC入力端子につなぐ



5 ACアダプターの電源プラグを電源コンセントにしっかりと差し込む
・電源ランプが点滅し、充電が始まります。



6 電源ランプが消灯するまで、そのままにしておく
・充電後は、温度20℃/湿度60%時で、約80分使用できます。（使用時間は、使用状況により変わります）

✷お願い✷
・長時間使用しないときは、バッテリーを外しておいてください。
・本機の電源が入っているときに、バッテリーの出し入れや、ACアダプターの抜き差しはしないでください。故障やデータ破壊の原因になります。
・充電中はACアダプターを抜かないでください。

充電中の電源ランプについて

充電中は電源ランプが点滅し（正常充電時は約1秒間隔の点滅）、通常約90分で完了します。電源ランプの点滅速度が速いときや、逆に遅いとき（もしくは消灯時）は異常が起こっていると考えられます。点滅速度によって以下の状態が考えられます。故障と思われた場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（☞ P. 59～61）にお問い合わせください。

約0.5秒間隔で点滅：
・本体やバッテリー、ACアダプターなどの故障と思われます。

約6秒間隔で点滅：
・バッテリーや周囲の温度が高い、もしくは低い場合、または過放電をしている場合です。充電はできますが時間がかかります。

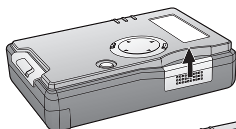
消灯：
・充電完了です。完了していないのに電源ランプが消灯しているときは、ACアダプターの故障と思われます。

カードを入れる

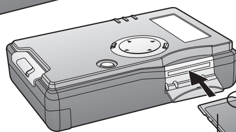
カードを入れるときや取り出すときは、本機の電源を切っておいてください。

SD メモリーカードスロット

1 カード扉を上げて開く



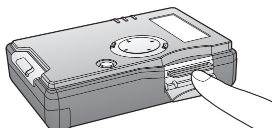
2 メモリーカードを「カチッ」と音がするまで押し込む
（ラベル面を上に）



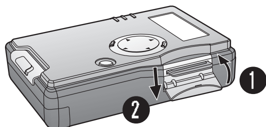
切り欠き部

メモリーカードを取り出すときは

指で押す

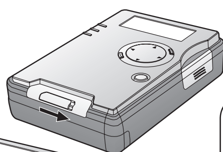


3 扉を閉じる

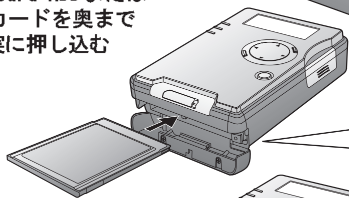


PC カードスロット

1 レバーをスライドして扉を開ける

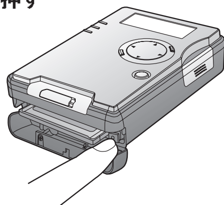


2 PC Card HDDまたはPCカードを奥まで確実に押し込む

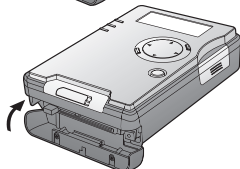


カードを取り出すときは

イジェクトボタンを２回押す



3 扉を閉じる



✷お願い✷

- カードを誤った方向に入れると、本機だけでなくカードが壊れる場合がありますので、必ず正しい方向に入れてください。
- PC Card HDD、メモリーカードは精密機器です。無理な力や衝撃を与えないでください。
- カード扉が完全に閉じないときは、一度カードを取り出して向きを確認して入れなおすかイジェクトボタンが完全に押されていることを確認してください。

電源を入れる

本機は雷などによる瞬時の停電が発生したとき、機器・カードデータを保護するために付属のバッテリーによる電源バックアップを行っています。ACアダプターをお使いの場合、あらかじめ十分に充電されたバッテリーを挿入の上接続してください。ACアダプターのみでは使用できません。

1 バッテリーを入れてACアダプターをつなぐ（☞ P.18）

・バッテリーのみでも使用できますが、パソコンモードでは
　ACアダプターを接続しないと電源が入りません。

2 平らな場所に置く

・平らな場所に置いて使用しないと、HDD SAFETYスイッチが働き動作しません。（下記参照）

3 電源ボタンを２秒以上押す

・本機の電源が入り、電源ランプが点灯し、
　それぞれの動作モードに入ります。（☞ P.15）

電源を切るときは
電源ボタンを２秒以上押す

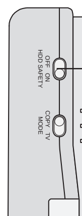


・バッテリーのみでご使用の場合、操作しない状態が５分以上続くとバッテリーの消耗を防ぐために自動的に電源が切れます。
・HDD SAFETY検出スイッチの動作中は、電源を切ることはできません。（下記参照）

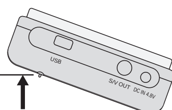
HDD SAFETYスイッチについて

PC Card HDDを保護するために、本機を持ち上げたり平らな場所に置かれていない場合、自動的にPC Card HDDの動作を止めます。

・本機に衝撃を与えるとPC Card HDDの中のデータが壊れるおそれがありますので、“ON”にしておくことをおすすめします。（工場出荷時は“ON”です）
・本機の下にある検出スイッチが作動すると操作が中断されます。テレビおよび液晶ディスプレイに警告表示が出ますので、本機をただちに平らな場所に置いてください。その後中断されていた操作は再開されます。コピーは続きから始めます。
・パソコンに接続している場合HDD SAFETY検出スイッチが働くと“SAFETY ドウサ オイテクダサイ”の警告が液晶ディスプレイに表示されます。このとき、コピーが中断されたままであったり、パソコン側でエラーが発生することがありますので、必ず平らな場所に置いてください。



HDD SAFETY 切り替えスイッチ



HDD SAFETY 検出スイッチ

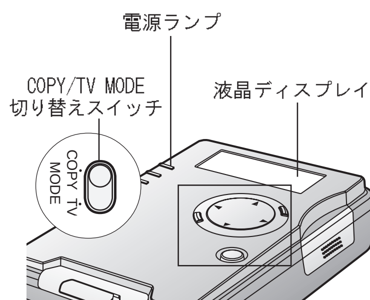
HDDが止まり、動作が中断します。

バッテリー残量表示について

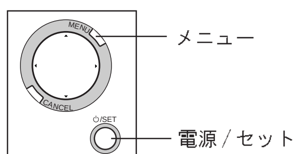


BATT. □□□と（電池マーク）が点滅すると、電源オフ以外のキー操作ができなくなります。このときはACアダプターを接続するかバッテリーを充電してからご使用ください。コピー中などにバッテリー容量が完全になくなると、コピーが中断され自動的に電源が切れます。中断されたときのデータは再生できない場合があります。
バッテリーは、こまめに充電されることをおすすめします。（☞ P.18）

コピーモードで使う（ディスプレイ表示）



コピーモードでは、カードからカードへのコピーを行います。その他、カード容量の確認やバックアップおよびテレビ方式の設定、カードのフォーマットなどを行います。
バッテリーのみでご使用の場合、操作しない状態が５分以上続くとバッテリーの消耗を防ぐために自動的に電源が切れます。

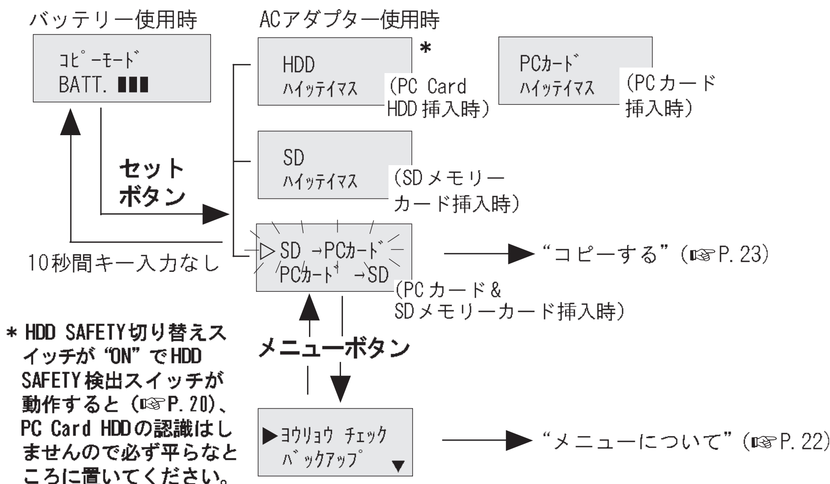


ディスプレイ表示の流れ

1 COPY/TV MODE 切り替えスイッチを“COPY”にする

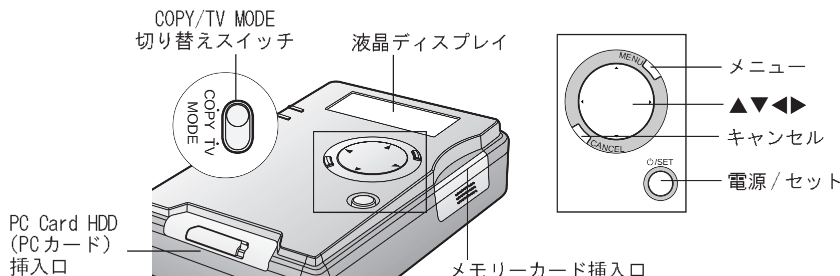
2 カードを入れる（☞ P. 19）

3 電源を入れる（☞ P. 20）




メモ
・付属のPC Card HDD以外のアダプターを使ったカードは、“PC カード”と表示されます。

コピーモードで使う（メニューについて）



●カード容量確認（ﾖｳﾘｮｳ ﾁｪｯｸ）

カードの容量を確認します。

・PC Card HDDの利用可能領域は約4.6GBです。

ｼﾖｳ	1.5GB
ｱｷ	3.1GB

（例）

●バックアップ（ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ｵﾝ/ｵﾌ）

誤ってデータを消去してしまった場合やデータが壊れたときのために、コピーする際、コピーするフォルダーとは別のフォルダーを自動的に作成し、あらかじめバックアップをとっておくように設定します。バックアップフォルダーの中身は、テレビモードでは表示されません。パソコンでコピー・編集・削除ができます。（工場出荷時は“オフ”です。）

●テレビ方式選択（NTSC/PAL）

テレビ方式（NTSCまたはPAL）の切り替えをします。ご使用する国に合ったテレビ方式を選択してください。NTSCは日本やアメリカなど、PALはヨーロッパなどのテレビ方式です。

●カードをフォーマットする（SD-ﾌｫｰﾏｯﾄ）（HDD-ﾌｫｰﾏｯﾄ）

カードをフォーマットします。

1 メニューを表示させる（☞ P.21）

・再度メニューボタンを押すと、メニュー表示を解除します。

▶ﾖｳﾘｮｳ ﾁｪｯｸ
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ▼

2 ▲▼ボタンを押して項目を選びセットボタンを押す

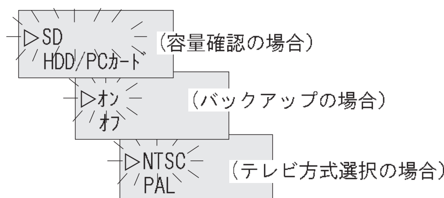
・メニュー内容については上記をご参照ください。

・フォーマットについては、24,25ページをご参照ください。

NTSC/PAL ▲
▶SD-ﾌｫｰﾏｯﾄ

3 ▲▼ボタンで選びセットボタンで決定する

・セットボタンが押されるまで、選択項目が点滅します。



繰り返して他の設定をするには…

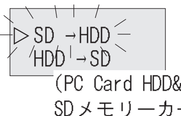
メニューボタンを押してステップ2にいく

コピーモードで使う（コピーする）

メモリーカードからPC Card HDD（PCカード）へ一括コピーしたり、PC Card HDD（PCカード）からメモリーカードにフォルダーを選択してコピーしたりすることができます。
PC Card HDD(PCカード)とメモリーカードの両方が挿入されていることを確認してください。

1 コピー選択メニューを表示させる(☞ P.21)

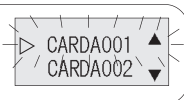
・メニューボタンを押すと、メニューが表示されます。(☞P.22)



（PC Card HDD&
SDメモリーカード挿入時）

2 ▲▼ボタンで選び セットボタンで決定する

HDD→SDを選んだ場合は、同じ要領でフォルダーの選択もします。



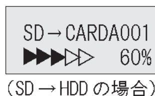
3 ▲▼ボタンで“ハイ”を選び、セットボタンで決定する



・決定したあと、容量のチェックが自動的に行われます。“アキヨウリョウ フソク”の警告表示が出たらコピー選択メニューに切り替わります。十分な容量のカードを準備していただき、最初からやり直してください。

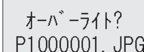
コピーが実行されます

・コピー内容については“コピー・バックアップについて”を参照してください。(☞ P.13,14)



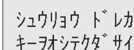
（SD→HDDの場合）

・上書きが発生する場合は、右の画面が表示されます。上書きする場合はセットボタンを押してください。上書きしない場合はキャンセルボタンを押してください。



コピーが完了しました！

・何かキーを押すと、ステップ1のコピー選択メニューに戻ります。



コピー途中で中止するには…

1. キャンセルボタンを押します
2. ▲▼ボタンで“ハイ”を選びセットボタンで決定します



✷お願い✷

・コピー実行中は、絶対にカードを取り出さないでください。

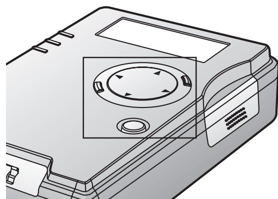
メモ

・SD→HDDのコピーの場合、HDD上に「CARD****」フォルダーを作成し、そのフォルダー内にコピーをします。PC Card HDD以外のカードが挿入されている場合は、メモリーカードのフォルダー構成に準じたコピーを行います。
・HDD→SDのコピーの場合、HDD上の「CARD****」フォルダーのみコピー可能です。
・バッテリー使用時に、10秒間キー入力がされなかったら、バッテリー残量表示画面に戻ります。操作に戻るには、セットボタンを押してください。
・メモリーカードがライトプロテクトされていると、コピーできません。
・セキュアデータ（拡張子WMA/SA1/MP3を含むファイル）はコピーされません。
・コピー中にキャンセルしても、それまでのデータはコピーされています。不要な場合はテレビモードまたはパソコンモードで削除してください。

カードをフォーマットする

通常、SDメモリーカードおよびPC Card HDDはフォーマット（初期化）する必要はありません。FAT32＊でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できませんので、必要なデータをパソコンなどで保存した後、本機でフォーマットしてください。

SDメモリーカードをフォーマットする



1 メニューを表示させる
(☞ P.21)

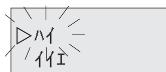
・メニュー内容については、
22ページをご参照ください。

▶ﾖｳﾘｮｳ ﾁｪｯｸ
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ▼

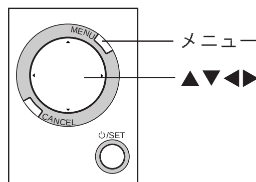
2 ▲▼ボタンを押して“SD-フォーマット”を選びセットボタンを押す

NTSC/PAL ▲
▶SD-ﾌｫｰﾏｯﾄ ▼

3 ▲▼ボタンで“ハイ”を選びセットボタンで決定する



・セットボタンが押されるまで、選択項目が点滅します。
・メニューボタンを押すとメニューに戻ります。



4 ▲▼ボタンで“ハイ”を選びセットボタンで決定する

ﾌｫｰﾏｯﾄ ▶ﾊｲ
ｼﾏｽｶ? ｲｲｴ

・実行しない場合は“イイエ”を選んでください。

＊ FAT32のSDメモリーカードが挿入されたときは、警告メッセージ（“FAT32 ツカエマセン”）を表示した後、フォーマット実行の確認メッセージが表示されます。

✐メモ✐

・“フォーマットエラー”の表示が出たら、SDメモリーカードを挿入しなおして再度フォーマットしてください。それでも失敗する場合は、SDメモリーカードが壊れている可能性があります。
・デジタルカメラでもフォーマットができます。詳しくはお使いのデジタルカメラの取扱説明書をご参照ください。

✷SDメモリーカードのフォーマットに関するお願い✷

＊ Windows XPでフォーマットが行われたSDメモリーカードは、初期設定のフォーマット形式として「FAT32」が選ばれる場合があります。FAT32は、本機およびほとんどのデジタルカメラで対応されていない形式ですので、この形式でフォーマットされたSDメモリーカードは、本機およびデジタルカメラで使用できません。この形式でフォーマットされたSDメモリーカードについては、再度、本機またはデジタルカメラでフォーマットしてください。

PC Card HDDをフォーマットする

フォーマットできるカードの品番は下記の通りです。下記に記載されている以外のカードはフォーマットできません。(2002年10月1日現在)

松下
・RP-PH005A

東芝
・PAMHD002
・PAMHD005

メルコ
・RHDC-2G
・RHDC-5G

アイオーデータ機器
・PCHDT-2Gt
・PCHDT-5Gt

ロジテック
・LPM-HD2G
・LPM-HD5G

KINGSTON
・DP-PCM2/2GB
・DP-PCM2/5GB

1 メニューを表示させる(☞ P.21)
・メニュー内容については、22ページをご参照ください。

▶ヨウリョウ チェック
バックアップ ▼

2 ▲▼ボタンを押して"HDD-フォーマット"を選び、セットボタンを押す

SD-フォーマット ▲
▶HDD-フォーマット

3 ▲▼ボタンで"ハイ"を選びセットボタンで決定する
・セットボタンが押されるまで、選択項目が点滅します。
・メニューボタンを押すとメニューに戻ります。

▷ハイ
イイエ

4 ▲▼ボタンで"ハイ"を選びセットボタンで決定する
・実行しない場合は"イイエ"を選んでください。

フォーマット ▶ハイ
シマスカ? イイエ

✷PC Card HDDのフォーマットに関するお願い✷
・本機でPC Card HDDのフォーマットを行うときは、必ずコピーモードで行ってください。パソコンモード(USB接続)ではフォーマットしないでください。ただしノートパソコン等の機器で複数のパーテーションを作成した場合、出荷時の単一パーテーションに戻りますので、必ずパーテーションを作成した機器でフォーマットしてください。
・Windows 95/98には、ディスクパーテーションを管理するツール「FDISK.EXE」がありますが、このツールを絶対に使用しないでください。このツールを使用してパーテーションを作成すると、PC Card HDDのディスク容量を間違って認識するため、それ以降正常に動作しなくなります。また、複数のパーテーションが作成されているPC Card HDDをWindows 95/98でフォーマットしないでください。他のパーテーションのデータを破壊するため、保存しているデータが使用できなくなります。
・ノートパソコン等の機器で複数のパーテーションを作成した場合、最初のパーテーションしか認識されません。
・その他のPCカードについても、パソコンモード(USB接続)でフォーマットしないでください。ご使用の機器とのフォーマット互換がなくなり、認識されない場合や、データが壊れるおそれがあります。必ずご使用の機器でフォーマットしてください。

✷フォーマットに関するお願い✷
・**フォーマットを行うと保存されていたデータは全て削除されます。**フォーマットする前にカードの容量や保存されている内容を確認してください。必要なデータは、別のドライブやカードに保存してからフォーマットしてください。また、パソコンでしか表示できないファイルがありますので、必ずパソコンで内容を確認してください。
・本機でフォーマットを行う場合、フォーマットするカードを間違えないように注意してください。フォーマットする前にカードの容量や保存されている内容を確認してください。

テレビモードで使う（テレビモードの準備）

本機をテレビに接続すると、デジタルカメラで撮影した写真や、パソコンで作ったプレゼンテーション用のファイルを、テレビで見ることができます。テレビモードでの機能は次ページをご参照ください。

準備をする（接続）

1 映像ケーブルを接続する

・お使いのテレビの映像入力端子かS映像入力端子のどちらかに接続してください。

2 テレビの電源を入れる

・電源を入れ、ビデオモードにしてください。
詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご参照ください。

3 本機にカードを入れる（☞P. 19）

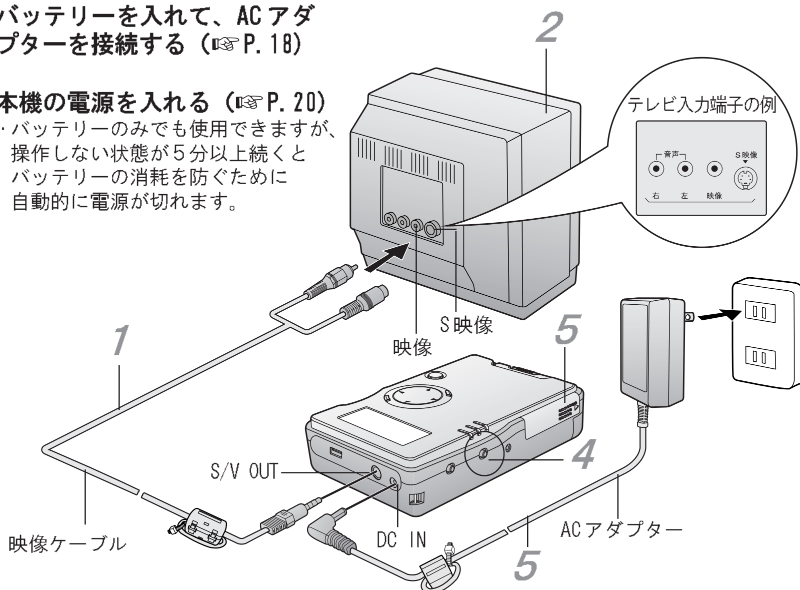
4 本機のCOPY/TV MODEスイッチをTVにする



5 バッテリーを入れて、ACアダプターを接続する（☞P. 18）

6 本機の電源を入れる（☞P. 20）

・バッテリーのみでも使用できますが、操作しない状態が5分以上続くとバッテリーの消耗を防ぐために自動的に電源が切れます。



✷お願い✷

・USBケーブルをパソコンに接続していると、自動的にパソコンモードになり、テレビモードとして使用できませんので、必ず本機からUSBケーブルを取り外してください。
・カードの抜き差しは、電源を切ってから行ってください。

テレビモードで使う（テレビモードでの機能）

初期画面について

下記の画面は、カードを挿入しているときの初期画面です。画面上に“カードがありません”と出るときは、いずれかのカードを挿入するか、カードが正しく挿入されていることを確認してください。

メニューエリア

HDD/PC カード・SD（カード選択）
選択されているカードを表示します。▲▼◀▶で表示させたいカードを選び、セットボタンを押してください。

画像再生
カードの中にある画像ファイルをインデックスエリアに表示し、画像の日付による検索もできます。（☞P. 29）
また、インデックスエリアの画像を全画面再生することができ、ズーム、回転、色効果、画像情報、消去などの機能が使えます。（☞P. 40～43）

アルバム再生
６画面、または９画面で画像を表示することができます。（☞P. 30）
また、一つの画像を選択すると全画面再生することができ、ズーム、回転、色効果、画像情報、消去などの機能が使えます。（☞P. 40～43）

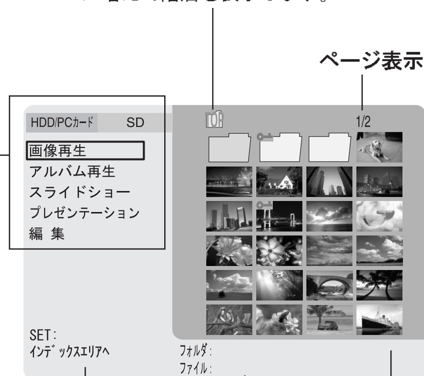
スライドショー
画像のスライドショーを行います。その際、画面切り替え効果や速度などの設定もできます。（☞P. 31～33）

プレゼンテーション
プレゼンテーションを行います。（☞P. 34, 35）
付属のソフトを使って、パソコンで作成されたPowerPointのデータをJPEGファイルに変換し、プレゼンテーション用のファイルを作ります。（☞P. 48, 49）

編集
画像ファイルの消去やコピー、保護設定を行います。（☞P. 36～39）

フォルダー階層表示
・インデックス中のフォルダーを開いたときに、このアイコンが増えて階層を表示します。

ページ表示



フォルダー・ファイル名表示
・選択したフォルダーやファイルの名前を表示します。

メッセージエリア
・操作のナビゲーションをします。

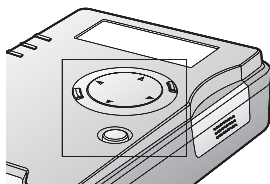
インデックスエリア
・カードの中のフォルダーやファイルを表示します。

メモ
・表示できる画像、フォルダー・ファイルについての説明は、28ページをご参照ください。

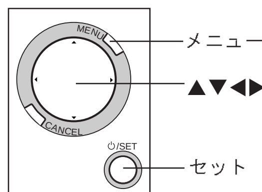
テレビモードで使う（表示について）

テレビ表示可能な画像形式について

本機で再生可能な画像ファイルの形式は、次の通りです。



- DCF フォーマット1.1準拠
- JPEG フォーマットベースラインY Cb Cr（圧縮形式）
  （サンプリング比4：4：4、4：2：0、4：2：2、4：1：1）
  （80 × 60 ～ 5120 × 3840 ピクセル）
- TIFF フォーマットRGB（非圧縮形式）
  （表示には時間がかかります）
- 拡張子movのMotion JPEG（QuickTime形式）の先頭画



メモ

・JPEG ファイルでも「グレースケール」で保存するなど、パソコンで画像を加工した場合、データフォーマットが変更され、表示できない場合があります。
・画像サイズによっては、画像の一部が表示されなかったり小さく表示される場合があります。

フォルダー・ファイルについて

インデックスエリア(☞P.27)に表示されるフォルダーとファイルについて下記の表で説明します。フォルダー構成については、12ページをご参照ください。

	フォルダー	青	表示可能な画像が含まれたフォルダーです。
		ピンク	プレゼンテーション用フォルダー（「PRES_***」）です。
		グレー	表示できる画像がないフォルダーです。
TIFF	JPEG ファイル TIFF ファイル	TIFF ファイルは、全画面再生・スライドショーでは表示に時間がかかります。インデックス表示、アルバム再生ではTIFF アイコンのみ表示される場合があります。ファイルによっては、画像が表示されない場合や小さく表示される場合があります。	
	MOV ファイル	動画ファイルと音声付静止画です。動画ファイルについては先頭画のみが表示されます。回転したファイルは保存できません。	
	プロテクト	保護されているフォルダー・ファイルです。(☞P.38) 削除はできません。	

メモ

<フォルダー名・ファイル名について>
・次の場合は、フォルダー名・ファイル名が正しく表示されませんので、ファイル名やフォルダー名を変えるときは十分注意してください。
　・全角文字（漢字、カタカナ、ひらがな、アルファベット、数字）を使用している場合
　・半角英数字でも８文字を越える場合です。
　・半角文字のスペース、カタカナ、特殊記号を使用している場合です。

テレビモードで使う（画像再生）

インデックスで画像を見る

**1 ▲▼◀▶ でカードを選び
セットボタンを押す**

**2 "画像再生" にカーソルがあること
を確認して、セットボタンを押す**

・カーソルがインデックスエリアの先頭に移ります。

**3 複数ページにわたっている場合
▲▼ ボタンでカーソルを移動する**



フォルダーの中を見るには…

▲▼◀▶ボタンで見たいフォルダーにカーソルを移動し、セットボタンを押します。

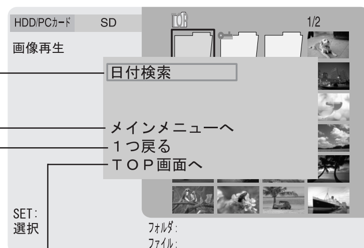
メモ

・画像にカーソルを合わせセットボタンを押すと、その画像を全画面再生できます。(☞P. 40)

サブメニューを使う

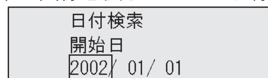
**1 カーソルがインデックスエリアに
あるとき、メニューボタンを押す**

**2 ▲▼ ボタンで項目（下記参照）
を選び、セットボタンを押す**



日付検索

インデックスエリアに表示されているフォルダーや画像の日付検索を行います。フォルダーの中の画像を検索するにはフォルダーの中の画像を表示させてから行ってください。



**a ▲▼ボタンで数字を選択し、
◀▶ボタンでカーソルを移動させる**

・この操作を繰り返して、"年""月""日"を全て入力してください。

b セットボタンを押す

・設定した日付以降のファイルを検索して、日付の古い順にインデックスに表示します。
・"メインメニューへ" を選びメインメニューへ戻ると、日付検索された内容はクリアされます。

TOP 画面へ

インデックス表示が最初の階層に戻り、メニューエリアにカーソルが移動します。

１つ戻る

一つ前の階層に戻ります。

メインメニューへ

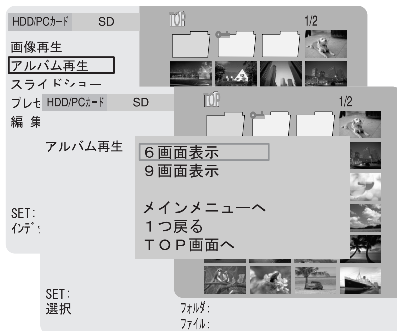
メニューエリアにカーソルが移動します。

メモ

・サブメニュー表示中にメニューボタンを押すとサブメニューが消えます。
・通常は、日付の新しい順にインデックスエリアに表示されます。

テレビモードで使う（アルバム再生）

テレビ画面で、6枚または9枚ずつアルバムのように画像ファイルを見ることができます。



1 ▲▼ ボタンで“アルバム再生”を選び、セットボタンを押す

・インデックスエリアに表示されている画像のみをアルバム再生しますので、フォルダーの中の画像をアルバム再生するには、フォルダーの画像を表示させてから行ってください。(☞P. 29)

2 メニューボタンを押す

・メニューが表示されます。

3 ▲▼ ボタンで“６画面表示”または“９画面表示”を選び、セットボタンを押す



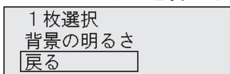
（６画面表示の場合）

次または前のページに移動するには…

▶ボタンで次のページに移動し、
◀ボタンで前のページに戻ります

インデックスエリアに戻るには…

a メニューボタンを押します



b ▼ ボタンで“戻る”を選択し、セットボタンを押します

・“１枚選択”を選び、画像にカーソルを合わせセットボタンを押すと、その画像を全画面再生できます。(☞P. 40)

背景の明るさを選択する

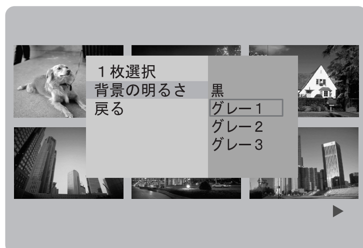
画像の明るさによっては、ワイドテレビでアルバム再生、全画面再生 (☞P. 40)、スライドショー (☞P. 31) を行うとセルフワイド機能（メーカーにより名称は異なる）が働いてしまう場合があります。その場合、下記の手順に従って背景の明るさを調整してください。

1 アルバム再生を実行させた状態で
メニューボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで“背景の明るさ”を選び、▶ ボタンを押す

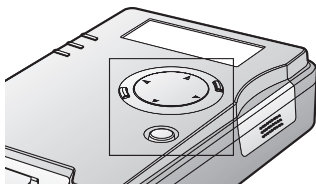
3 ▲▼ ボタンで“グレー１”“グレー２”または“グレー３”のいずれかを選びセットボタンを押す

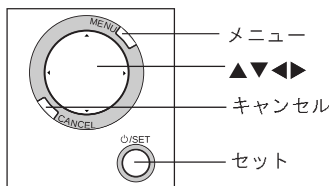
・お使いのテレビによって調整してください。
通常のテレビで使用する場合は、“黒”に戻してください。



テレビモードで使う（スライドショー）

画像を次々と再生することができます。再生する画像を選択したり、切り替えの効果や速度を設定することもできます。





スライドショーを実行する

1 ▲▼ボタンで"スライドショー"を選び、セットボタンを押す

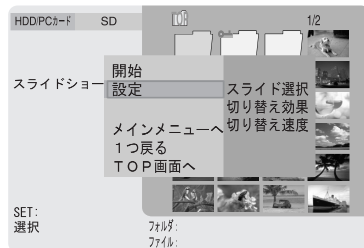
・インデックスエリアに表示されている画像のみをスライドショーしますので、フォルダーの中の画像をスライドショーするには、フォルダーの画像を表示させてから行ってください。(☞P. 29)



2 メニューボタンを押す

3 ▲▼ボタンで"設定"を選び各種設定をする

"スライド選択"(☞P. 32)
"切り替え効果"(☞P. 33)
"切り替え速度"(☞P. 33)



4 ▲▼ボタンで"開始"を選びセットボタンを押す

・スライドショーが始まり、最後の画像で止まります。

スライドショーを一時停止するには…

セットボタンを押します

・一時停止のマーク(❚❚)が画面左上に表示されます。
・もう一度押すと再開します。
・保存したファイルが多い場合、一時停止／中止に時間がかかる場合があります。

スライドショーを中止するには…

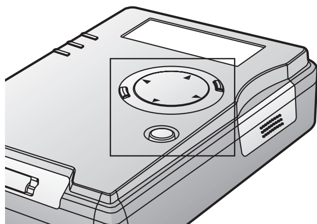
キャンセルボタンを押します

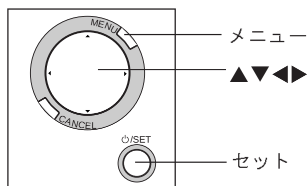


・サブメニュー表示中にメニューボタンを押すとサブメニューが消えます。
・"メインメニューへ"はメニューエリアにカーソルが移動し、"1つ戻る"は1つ前の階層に戻り、"TOP画面へ"は最初の階層に戻りメニューエリアにカーソルが移動します。
・アルバム再生では、画像が表示されないTIFFファイルがあります。
・スライドショーでは、TIFFファイルの画像表示に時間がかかります。

テレビモードで使う（スライドショーの設定）

31ページのステップ3において、スライドショーを行うときの画像を選択したり、切り替え効果や速度を設定できます。





画像を選択する

再生したい画像をインデックスから選択できます。インデックスに表示された全画像を再生したい場合は、この設定は必要ありません。

1 **31ページのステップ3で、▶ボタンを押す**

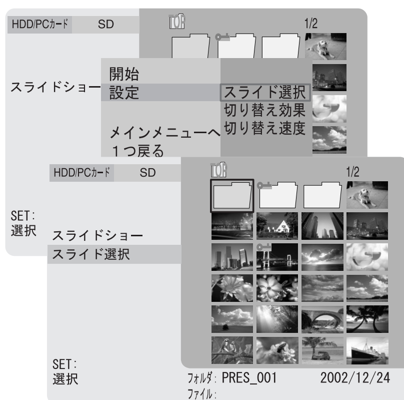
・カーソルが"スライド選択"に移ります。

2 **セットボタンを押す**

・カーソルがインデックスの先頭に移ります。

3 **▲▼◀▶ボタンで再生させたい画像を選び、セットボタンを押す**

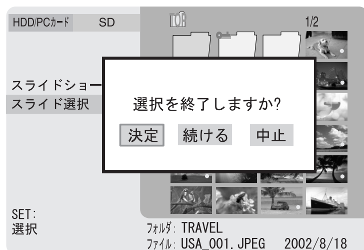
・もう一度セットボタンを押すと選択が解除されます。
・選択された画像の右下に●が表示されます。
・この操作を繰り返して、再生したい画像を全て選択してください。選択された順序でスライドショーが実行されます。
・フォルダー内の画像を選択するには、フォルダー内の画像を表示させてから行ってください。（☞P. 29）



4 選択が終わったら**メニューボタンを押す**

5 **◀▶ボタンで"決定""続ける""中止"のいずれかを選び、セットボタンを押す**

・**決定**　：選択を終了します。
続ける：選択を続けます。
中止　：画像選択を中止します。



6 **◀ボタンで"設定"にカーソルを戻す**

画面切り替えの効果を設定する

1 **31 ページのステップ 3 で、▶ ボタンを押す**

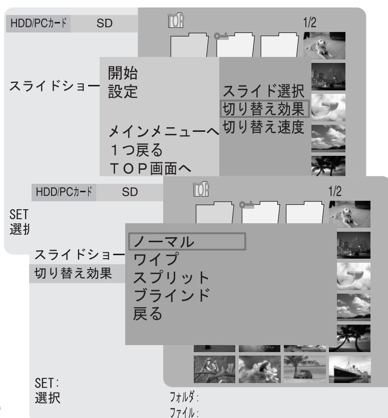
・カーソルが“スライド選択”に移ります。

2 **▲▼ ボタンで“切り替え効果”を選び、セットボタンを押す**

3 **▲▼ ボタンで好みの効果を選び、セットボタンを押す**

・**ノーマル** ：一画面ずつ切り替えます。
・**ワイプ** ：上端から切り替えます。
・**スプリット** ：中央から左右に切り替えます。
・**ブラインド** ：ブラインドのように、帯状ブロックに切り替えます。

4 **◀ ボタンで“設定”にカーソルを戻す**



画面切り替えの速度を設定する

1 **31 ページのステップ 3 で、▶ ボタンを押す**

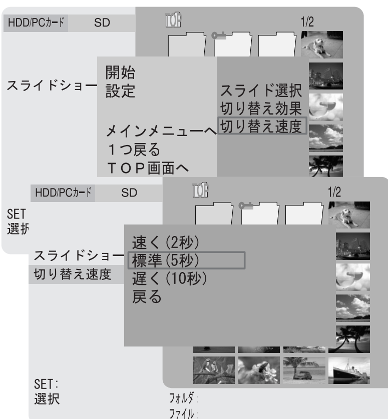
・カーソルが“スライド選択”に移ります。

2 **▲▼ ボタンで“切り替え速度”を選び、セットボタンを押す**

3 **▲▼ ボタンで好みの速度を選び、セットボタンを押す**

・**速く** ：2 秒ごとに切り替えます。
・**標準** ：5 秒ごとに切り替えます。
・**遅く** ：10 秒ごとにに切り替えます。
＊ ファイルサイズの大きな画像があると、画像展開が長くなり設定以上に時間がかかることがあります。

4 **◀ ボタンで“設定”にカーソルを戻す**

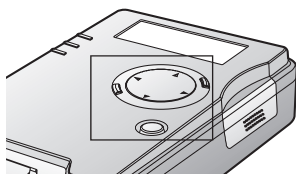


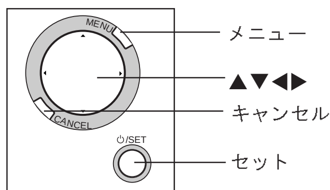


・サブメニュー表示中にメニューボタンを押すとサブメニューが消えます。
・“メインメニューへ”はメニューエリアにカーソルが移動し、“１つ戻る”は１つ前の階層に戻り、“TOP 画面へ”は最初の階層に戻りメニューエリアにカーソルが移動します。
・“切り替え効果”および“切り替え速度”の選択メニューで、“戻る”を選ぶかメニューボタンを押すと、一つ前のサブメニューに戻ります。

テレビモードで使う（プレゼンテーション）

パソコンで作成したPowerPointのデータを付属の「JPEGアドインソフト」を使って JPEGに変換し、テレビ画面を使ってプレゼンテーションすることができます。
プレゼンテーション用のファイルを作成するには、48,49ページをご参照ください。





プレゼンテーションを実行する

1 ▲▼ ボタンで"プレゼンテーション"を選び、セットボタンを押す

・ピンクで表示されたプレゼンテーション用フォルダーがあることを確認してください。

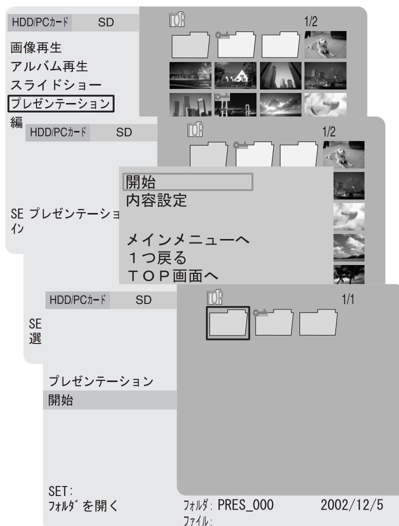
2 メニューボタンを押す

3 ▲▼ ボタンで"開始"を選びセットボタンを押す

・プレゼンテーション用のフォルダーのみがインデックスエリアに表示されます。
・内容を設定したい場合は、もう一度メニューボタンを押し、"内容設定"を選んでください。(☞P. 35)

4 ▲▼◀▶ ボタンでフォルダーを選びセットボタンを押す

・最初のスライドが表示されます。



次のスライドに移動するには…

▶ボタンを押します
・◀ボタンを押すと一つ前に戻ります。

プレゼンテーションを中止するには…

キャンセルボタンを押します

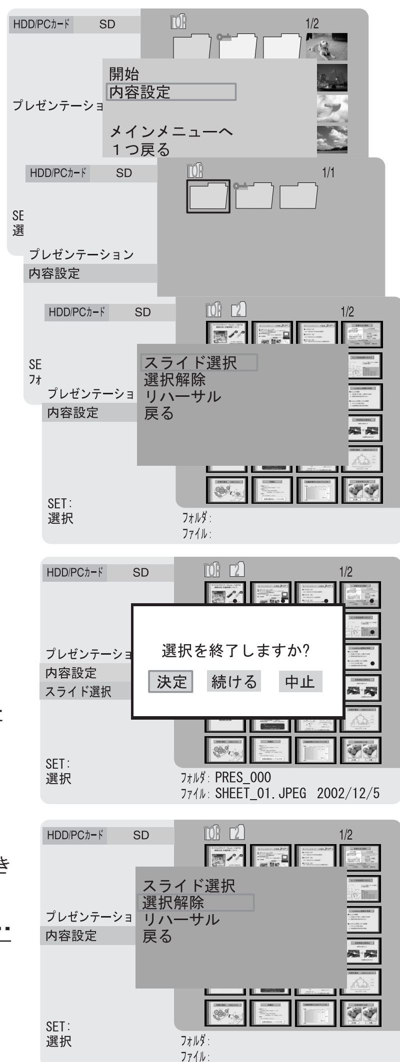


メモ

・"メインメニューへ"はメニューエリアにカーソルが移動し、"１つ戻る"は１つ前の階層に戻り、"TOP画面へ"は最初の階層に戻りメニューエリアにカーソルが移動します。
・スライド選択では、選択した順番通りにプレゼンテーションが実行されます。一度設定されたスライドと順番は、インデックスで確認することができ、選択を解除する（☞P. 35)まで記憶されています。
・「PRES_***」という名前のみ(*は任意の英数字) プレゼンテーション用のフォルダーとして認識されます。作成後パソコンでフォルダー名を変更する場合、末尾の3文字の半角英数字（***）以外は変更しないでください。

内容設定をする

再生したいスライドをインデックスから選択できます。インデックスに表示された全スライドを再生したい場合は、この設定は必要ありません。



1 左ページのステップ3で“内容設定”を選び、セットボタンを押す

2 ▲▼◀▶ボタンで設定したいフォルダーを選び、セットボタンを押す

・フォルダーの内容が表示されます。

3 ▲▼ボタンで“スライド選択”を選び、セットボタンを押す

・“戻る”を選ぶと一つ前に戻ります。

4 ▲▼◀▶ボタンで再生させたいスライドを選び、セットボタンを押す

・もう一度押すと選択が解除されます。

・選択されたスライドの右下に●が現れます。

・この操作を繰り返して、再生したいスライドを全て選択してください。選択された順序でプレゼンテーションが実行されます。

5 選択が終わったら**メニューボタンを押す**

6 ◀▶ボタンで“決定”“続ける”“中止”のいずれかを選び、セットボタンを押す

・**決定**　:選択を終了します。

・**続ける**:選択を続けます。

・**中止**　:スライド選択を中止してメニューに戻ります。

選択を解除するには…

▲▼ボタンで“選択解除”を選び、セットボタンを押します

・選択が解除され、パソコンで作成されたときの順番に戻ります。

内容を確認（リハーサル）するには…

▲▼ボタンで“リハーサル”を選び、セットボタンを押します

・約２秒ごとにスライドを再生します。

・キャンセルボタンで中止ができます。

・セットボタンで一時停止ができます。

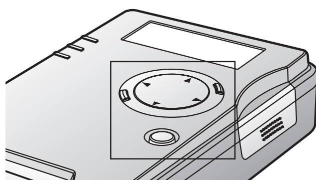
・保存したファイルが多い場合、一時停止／中止に時間がかかる場合があります。

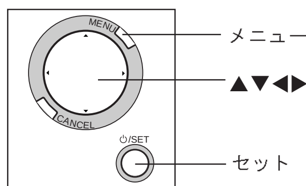
7 ▲▼ボタンで“戻る”を選び、セットボタンを押す

・左ページのステップ3に戻ってください。

テレビモードで使う（編集）

カードの中の画像を消去したり、カードからカードへコピーしたり、誤消去を防ぐためのプロテクトの設定をしたりすることができます。





画像を消去する（画像消去）

1 ▲▼ ボタンで“編集”を選び セットボタンを押す

2 メニューボタンを押す

・メニューが表示されます。

3 ▶ ボタンでカーソルを右に移動し ▲▼ ボタンで“選択”か“一括”を選び、セットボタンを押す

・**選択**：画像、またはフォルダーを選択して消去します。

・**一括**：表示されている画像と、フォルダー内の画像全てを消去します。ただし、表示可能な画像ファイル以外は消去されません。

・プロテクトされている画像は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください。(☞P. 38)

・フォルダー内のファイルを選択するには、フォルダーの画像を表示させてから行ってください。(☞P. 29)

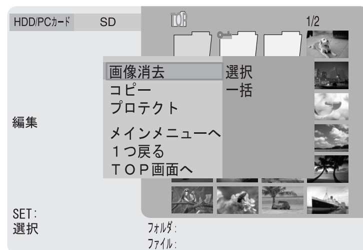
選択消去の場合は、39 ページの“画像の選択のしかた”にすすんでください

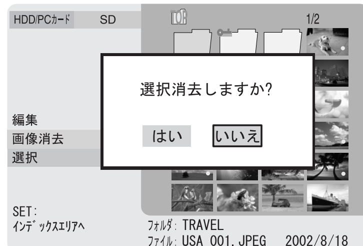
4 ◀▶ ボタンで“はい”を選び セットボタンを押す

・画像が消去されます。

・キャンセルするには“いいえ”を選んでください。







（選択の場合）

画像をコピーする（コピー）

選択したカードからもう一方のカードにコピーされますので、コピー先にカードが入っていることを確認してください。

1 ▲▼ ボタンで“編集”を選び セットボタンを押す



2 メニューボタンを押す

・メニューが表示されます。

3 ▲▼ ボタンで“コピー”を選び ▶ ボタンでカーソルを右に移動する

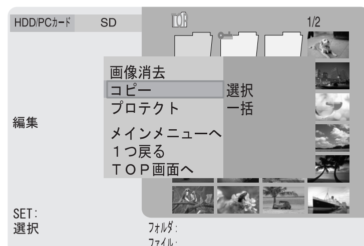
4 ▲▼ ボタンで“選択”または“一括”を選び、セットボタンを押す

・**選択**：画像、またはフォルダーを選択してコピー*します。

・**一括**：表示されている画像と、フォルダー内全てをコピー*します。

＊ フォルダーをコピーする場合、画像以外のファイルを含む全てのファイルをコピーします。

・フォルダー内のファイルを選択するには、フォルダーの画像を表示させてから行ってください。（☞P. 29）

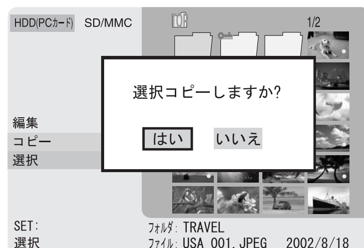


選択コピーの場合は、39 ページの“画像の選択のしかた”にすすんでください

5 ◀▶ ボタンで“はい”を選び、セットボタンを押す

・画像がもう一方のカードにコピーされます。

・キャンセルするには“いいえ”を選んでください。



（選択の場合）

メモ

・サブメニュー表示中にメニューボタンを押すとサブメニューが消えます。

・“メインメニューへ”はメニューエリアにカーソルが移動し、“１つ戻る”は１つ前の階層に戻り、“TOP 画面へ”は最初の階層に戻りメニューエリアにカーソルが移動します。

・一括消去は、フォルダーの中まで全て消去されますので、フォルダーの内容を確認してから実行してください。ただし、表示可能な画像以外のファイルは消去されません。

・グレーフォルダーは表示できる画像ファイルがないため消去できません。

・下８桁のファイル名が同じファイル同士は、全て同一ファイルとみなされ、選択した以外のファイルも同じように消去したりコピーしたりします。

テレビモードで使う（編集）つづき

画像を保護する（プロテクト）

誤って消去してしまわないように、大切なデータを保護することができます。

1 ▲▼ ボタンで“編集”を選び、セットボタンを押す

2 メニューボタンを押す

・メニューが表示されます。

3 ▲▼ ボタンで“プロテクト”を選び ▶ ボタンでカーソルを右に移動する

4 ▲▼ ボタンで“選択”または“一括”を選び、セットボタンを押す

・**選択**：画像、またはフォルダーを選択して保護*します。

・**一括**：表示されている画像と、フォルダ内全てを保護*します。

＊フォルダーを保護する場合、画像以外のファイルを含む全てのファイルを保護します。



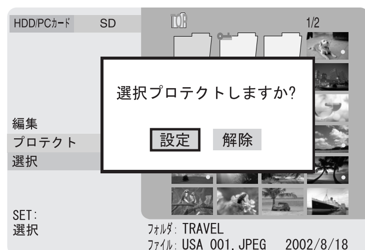
選択保護の場合は、39 ページの“画像の選択のしかた”にすすんでください

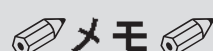
5 ◀▶ ボタンで“設定”を選び、セットボタンを押す

・画像、またはフォルダーが保護されます。

・左上に鍵のマークが表示されます。

・既に保護されている画像の設定を解除するには、ここで“解除”を選んでください。

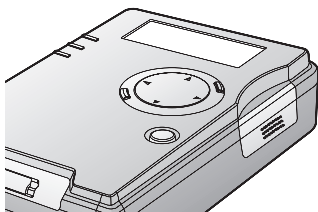


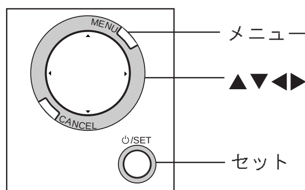


・サブメニュー表示中にメニューボタンを押すとサブメニューが消えます。

・“メインメニューへ”はメニューエリアにカーソルが移動し、“１つ戻る”は１つ前の階層に戻り、“TOP 画面へ”は最初の階層に戻りメニューエリアにカーソルが移動します。

・下８桁のファイル名が同じファイル同士は、全て同一ファイルとみなされ、選択した以外のファイルも同じようにプロテクトされます。





画像の選択のしかた

消去、コピーおよびプロテクトの設定での画像の選択のしかたは、この説明に従ってください。ここでは、消去の画面を例にあげて説明しています。

1 **▲▼◀▶ボタンで選択したい画像を選び、セットボタンを押す**

・もう一度押すと選択が解除されます。

・選択されたスライドの右下に●が表示されます。

・この操作を繰り返して、選択したい画像を全て選択してください。



2 選択が終わったら**メニューボタンを押す**

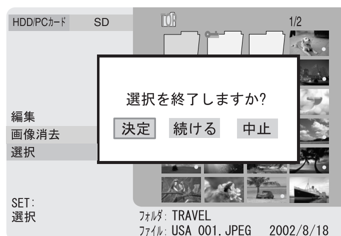
・もう一度メニューボタンを押すと、選択操作に戻ります。

3 **◀▶ボタンで"決定""続ける""中止"のいずれかを選び、セットボタンを押す**

・**決定**　:選択を終了します。

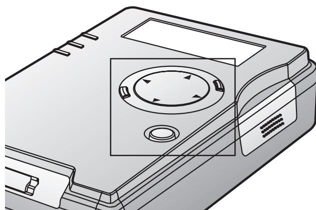
・**続ける**:選択を続けます。

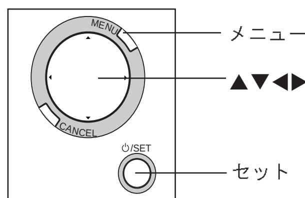
・**中止**　:画像選択を中止してメニューに戻ります。



テレビモードで使う（全画面再生）

インデックス表示とアルバム再生表示時に一枚の画像を選択すると、全画面再生ができます。また、その画像のズーム表示、回転、効果、画像情報、消去ができます。





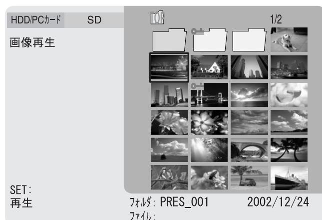
画像を選択する

画像再生（インデックス）から

1 インデックスを表示する（☞P. 29）

2 ▲▼◀▶ ボタンでファイルを選び セットボタンを押す

・選んだファイルを全画面再生します。



次の画像を表示するには…

▶ボタンを押します

・現在の階層にある画像ファイルを表示します。

・◀ボタンを押すと一つ前の画像に戻ります。

アルバム再生表示から

1 アルバム再生を実行する（☞P. 30）

2 メニューボタンを押す

1枚選択
背景の明るさ
戻る

3 ▲▼ボタンで"1枚選択"を選び セットボタンを押す



次の画像を表示するには…

▶ボタンを押します

・現在の階層にある画像ファイルを表示します。

・◀ボタンを押すと一つ前の画像に戻ります。

テレビモードで使う

全画面再生（画像の選択）

サブメニューを表示する

全画面再生時に、その画像のズーム表示、回転、色効果、画像情報表示などができます。
各項目の前にサブメニューを表示してください。

メニューボタンを押す

・"戻る"を選びセットボタンを押すと、インデックスエリア画面またはアルバム再生画面に戻ります。
・各項目についての説明は、41～43ページをご参照ください。



各操作の説明は、上記のサブメニューを表示していることを前提とします。

画像を拡大する（ズーム）

画像を2倍または4倍に拡大して表示することができます。

1 **▲▼ボタンで、サブメニューから"ズーム"を選び、セットボタンを押す（上記参照）**

2 **▲▼ボタンで、"２倍"または"４倍"を選び、セットボタンを押す**



3 **▲▼◀▶ボタンでズームしたい部分に枠をあわせ、セットボタンで拡大表示する**

・２倍表示のあと、４倍表示もできます。メニューボタンを押して"４倍"を選び、セットボタンを押したあと、このステップの操作を繰り返してください。
・拡大したあと、▲▼◀▶ボタンで、表示場所を移動することができます。



元の大きさに戻すには…

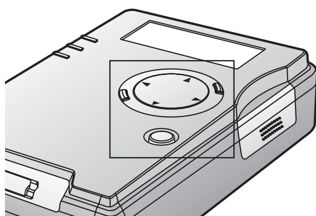
サブメニューから"戻る"を選び、セットボタンを押します
・4倍に拡大している場合は、同じ操作を繰り返してください。

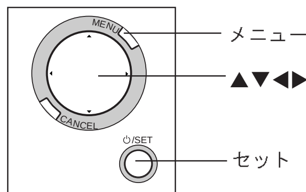
画像を消去するには…

a サブメニューから"消去"を選び、セットボタンを押す
b ◀▶ボタンで"はい"を選び、セットボタンを押す

メモ

・"戻る"を選ぶと、一つずつメニューが戻ります。
・サブメニューを一時的に消すには、メニューボタンを押してください。もう一度押すと直前に抜けたメニューが表示されます。
・画像によっては、拡大すると画像が粗くなる場合があります。



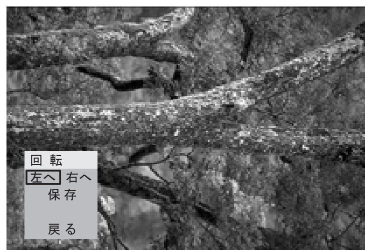


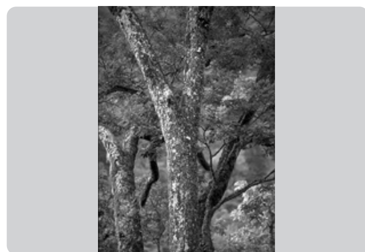
画像を回転する（回転）

1 ▲▼ ボタンで、サブメニューから“回転”を選び、セットボタンを押す
（☞P.41）

2 ◀▶ ボタンで、“左へ”または“右へ”を選び、セットボタンを押す

・**左へ**：画像が９０度左回転します。
・**右へ**：画像が９０度右回転します。





（“左へ”を選択した場合）

回転した画像を保存するには…

回転させた後に、サブメニューから“保存”を選び、セットボタンを押す

・回転後のファイルを常に表示します。

メモ

・“戻る”を選ぶと、一つずつメニューが戻ります。
・サブメニューを一時的に消すには、メニューボタンを押してください。もう一度押すと、直前に抜けたメニューが表示されます。
・MOV ファイルやその他、回転した画像を保存できないファイルもあります。

画像色を加工する（色効果）

画像の色を加工することができます。



1 **▲▼ ボタンで、サブメニューから“色効果”を選び、セットボタンを押す**（☞P.41）

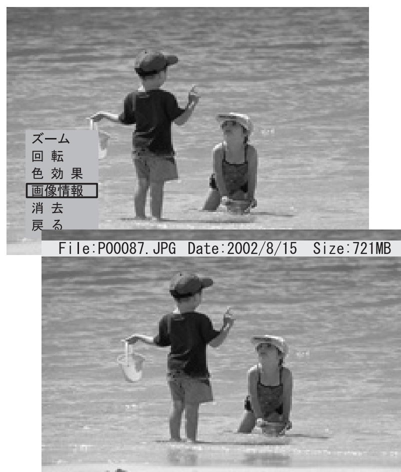
2 **▲▼ ボタンで、“B／W”または“セピア”を選び、セットボタンで決定する**

・画像の色が変わります。

・カラーに戻すには“戻る”を選び実行してください。

画像情報を表示する（画像情報）

画像のファイル名、日付、サイズを常に表示するように設定することができます。



▲▼ ボタンで、サブメニューから“画像情報”を選び、セットボタンを押す（☞P.41）

・一枚の画像を全画面再生したときに、常に情報が表示されます。

・一度設定すると、全画面再生のときは、常に画像情報を表示するように記憶されています。一度電源を切ると、その設定は解除されます。

画像情報の表示を消すには…

上記の操作を実行する

パソコンモードで使う（パソコンモードの準備）

本機を付属のUSBケーブルでパソコンに接続すると、外部ドライブとしてご使用できます。

システム環境について

本機をパソコンに接続してご使用いただけるシステム環境は以下のようになっています。

対応機種	●PC/AT互換機（USBポートを持つパソコン）
対応ＯＳ	●Windows® 98SE　●Windows® 2000　●Windows® Me　●Windows® XP

USBポートが標準装備され、上記対応OSがプリインストールされているパソコンに限ります。
・Windows 98SEの場合、ドライバーのインストール用としてCD-ROMドライブが必要です。
・1台のパソコンに複数のUSB機器を接続している場合や、USBハブやUSB延長ケーブルを使用して本機を接続している場合、動作を保証できないことがあります。

準備をする（接続）

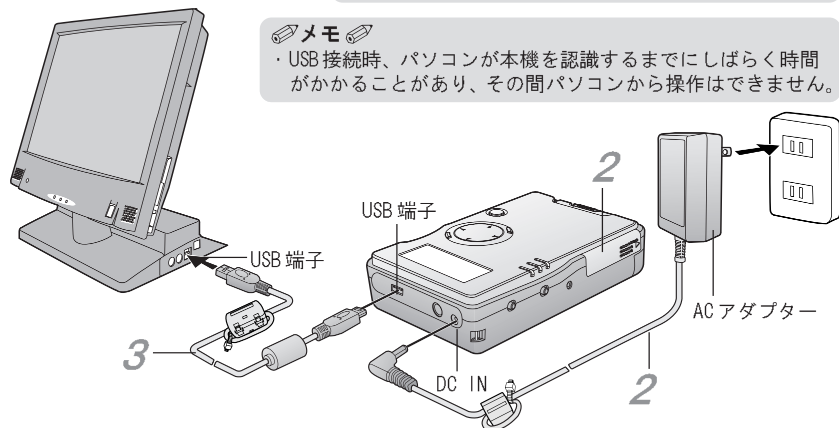
1 パソコンの電源を入れ Windowsを起動させる

2 バッテリーを入れてから ACアダプターを接続し 本機の電源を入れる
(☞P.20)

3 本機とパソコンをUSB ケーブルで接続する
・パソコンへの自動認識が始まります。使用するパソコンのOSによってメッセージの内容が異なります。
・Windows 98SEは専用ドライバーが必要です。次ページに従って専用ドライバーをインストールしてください。

✷お願い✷
・USBケーブルは、パソコンのUSBポートの⭠マークに合わせて接続してください。詳細は、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。
・**本機をパソコンと接続して使用する場合は、必ず本機に十分充電されたバッテリーを入れてからACアダプターを接続してください。**バッテリーが入っていないと電源が入りません。充電は、こまめにすることをおすすめします。
・パソコンとの通信中にUSBケーブルやACアダプターが抜けた場合、通信が異常終了しパソコンが操作できなくなる場合があります。その場合、パソコンを正常に戻した後、ただちにスキャンディスクをかけデータのバックアップを行ってください。(☞P.11)
その処理を行ってもデータの補償はできませんので、USB接続中は本機を平らで安定した場所、またUSBケーブルやACアダプターが抜けないような安全な場所でご使用ください。HDD SAFETYスイッチが動作した場合については51ページをご参照ください。
・USBケーブルは、必ずパソコン起動後に接続してください。

メモ
・USB接続時、パソコンが本機を認識するまでにしばらく時間がかかることがあり、その間パソコンから操作はできません。



USBドライバーをインストールする（Windows 98SEのみ）

1 **左ページの“準備をする”に従って接続をする**
・新しいハードウェアの追加ウィザードの画面が表示されます。

2 **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする**

3 「次の新しいドライバを検索しています」の画面で
[次へ]ボタン❶をクリックする

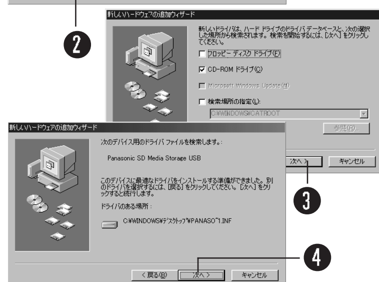
4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」がチェックされた状態で
[次へ]ボタン❷をクリックする

5 「CD-ROMドライブ」がチェックされた状態で
[次へ]ボタン❸をクリックする
・「フロッピーディスクドライブ」のチェックを外してください。

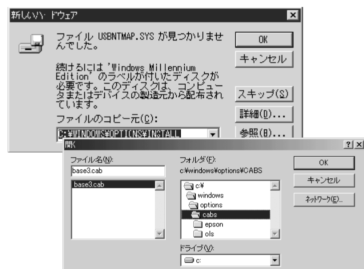
6 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」の画面で
[次へ]ボタン❹をクリックする
・ファイルコピー・ドライバー情報ベースの作成がされます。

7 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」と出たら
[完了]ボタン❺をクリックする









Windows Meをご使用の場合

ご使用のパソコンの環境によって、自動認識中に右のような画面が表示されることがあります。この場合、[参照]をクリックして、下の画面のようにc:¥windows¥options¥cabsのフォルダーを指定して[OK]をクリックしてください。
それから、上の画面でファイルのコピー元(C)が、[c:¥windows¥options¥cabs]になっていることを確認して[OK]をクリックしてください。

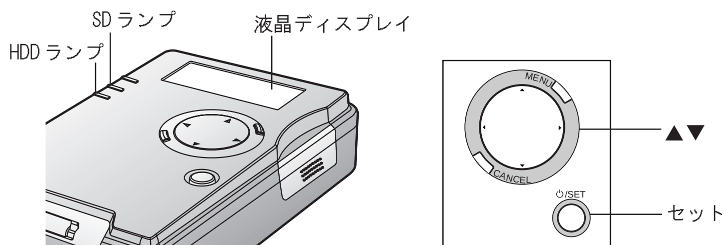


メモ

・[戻る]ボタンをクリックすると一つ前の操作に戻ります。
・二度目以降の使用時にはインストールの必要はありません。
・インストールが終わると、[マイコンピュータ]をダブルクリックして、ドライブに[リムーバブルディスク]が追加されていることを確認してください。

パソコンモードで使う（パソコンで操作する）

本機を付属のUSBケーブルでパソコンに接続すると（☞P.44）、リムーバブルディスクとして認識されます。通常のハードディスクと同じように、ファイルのコピー・移動・消去、ファイルの表示などの操作をすることができます。



ファイルを操作する

1 44ページの"準備をする（接続）"に従って接続をする

2 他のカードを選択し、切り替える

・USB接続中に他のカードを選択すると、パソコンとの通信が切れますので、47ページの"本機をパソコンから取り外す"のステップ 1～4を行った後、下記の操作をしてください。

▲▼ボタンで"SD"または"HDD(PCカード)"を選びセットボタンを押す



（液晶ディスプレイ）

・SDランプやHDDランプが点滅中は「ツウシンチュウ　キリカエデキマセン」の表示が出て切り替えできません。SDおよびHDDランプが消灯した後、再度セットボタンを押してください。

3 [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、[リムーバブルディスク]をダブルクリックする

・カードの中のファイルが表示され、通常のパソコン操作を行うことができます
・リムーバブルディスクが認識されていない場合は、50ページの"デバイスドライバーを再インストールする"をご参照ください。



メモ

・パソコンの環境・設定により、(D:)などのドライブ番号、およびマイコンピュータの開き方が異なります。
・USBケーブル接続後、SDまたはHDDランプが点滅している間は、パソコンとの接続認識中のためパソコン側での「リムーバブルディスク」は表示されません。ランプが消えた後にご確認ください。PC Card HDDの場合、パソコン側が自動認識するまでに数分かかることがあります。

本機をパソコンから取り外す

1 本機のSD ランプとHDD ランプが消灯し、カードが使用中でないことを確認する

2 デスクトップ右下のタスクトレイにある、[ハードウェアの取り外し]アイコン をクリックする

3 [USB 大容量記憶装置デバイス-ドライブ (D:)を停止します]をクリックする

・Windows Meの場合は[USBディスクドライブ]と表示されます。
・「ハードウェアの取り外し」のメッセージが表示されます。
・ファイルのコピー中など、カードが動作中にこの操作をするとエラーメッセージが表示されます。その場合[OK]ボタンをクリックし、動作が終了してから再度実行してください。
・アプリケーションを使用中に本機をパソコンから取り外す場合、エラーメッセージが表示される場合があります。その場合には、使用中のアプリケーションを終了してから再度実行してください。

4 [OK]ボタンをクリックする

・本機を安全に取り外すことができます。

5 USB ケーブルをパソコンから取り外す

✷お願い✷

・本機のカードにアクセスしている間にUSBケーブルを抜くと、本機が破損したりデータが破壊したりするおそれがあります。必ず上記の手順で取り外してください。
・Windows 98SEは[ハードウェアの取り外し]の特別な操作はありません。Windows 98SEをご使用の場合は、Windowsの起動中に本機の接続・取り外しを繰り返したり、本機を接続した状態でパソコンのスタンバイや休止状態を繰り返したりしないでください。
・付属のPC Card HDDは、パソコンのPCカードスロットに直接挿入してハードディスクとして使用することができますが、PC Card HDDをパソコンから抜くときは、上記のステップ2でPCカードのアイコンをクリックして同様の操作を行ってください。

メモ

・パソコンの環境によりパソコン上のメッセージが異なります。

カードを切り替えるには・・・

上記の“本機をパソコンから取り外す”のステップ1～4を行った後、46ページのステップ2に従って切り替えてください。

カードを交換するには・・・

上記の“本機をパソコンから取り外す”のステップ1～5を行った後、一度電源を切ってから19ページに従って交換してください。

パソコン接続中に本機の電源を切るには・・・

上記の“本機をパソコンから取り外す”のステップ1～5を行った後、電源を切ってください。

パソコンモードで使う（アプリケーションを使う）

付属のCD-ROMには「JPEGアドインソフト」が含まれています。このアプリケーションは、パソコンで作成したMicrosoft PowerPointのデータをJPEGに変換し、プレゼンテーション用のフォルダーを自動的に作成します。(☞P.49)
また、テレビ画面を使ってプレゼンテーションを行うことができます。(☞P.34,35)

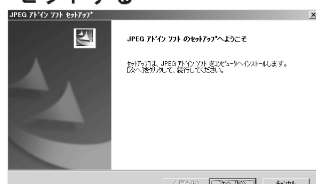
・300MHz以上のCPU（PC/AT互換を含む）および、128MB以上のメモリを搭載したパソコンで使用することを推奨します。また、このアプリケーションを使うにはMicrosot® PowerPoint® 97/2000/2002のインストールが必要です。

インストールする

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動させる

2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへセットする

・フォルダーが自動的に開きます。開かない場合、[マイコンピュータ]からCD-ROMドライブのフォルダーを開いてください。



3 [Setup]フォルダーにある［Setup.exe］をダブルクリックする

・セットアッププログラムが起動します。
・パソコンにPowerPointがインストールされていない場合、警告メッセージが表示されます。[OK]をクリックしてからPowerPointをインストールしてください。

4 [次へ]ボタンをクリックする

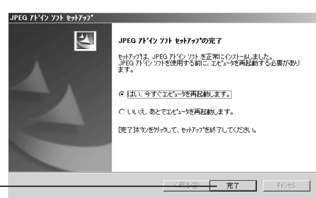


5 インストール先を確認して[次へ]ボタンをクリックする

・別のフォルダーへインストールする場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルダーを選択してください。

6 [完了]ボタンをクリックする

・すぐに再起動しない場合、あらかじめ“いいえ、あとでコンピュータを再起動します”を選択しておいてください。



7 CD-ROMドライブのアクセスランプが消えていることを確認し、CD-ROMを取り出す

・セットアップが完了しました。

8 PowerPointを起動させ、右のようなアイコンが追加されたことを確認する





・起動時に「JPEGフィルタをインストールしてください。」という表示が出た場合、PowerPointに付属の「JPEG用フィルタ（読み込み）」を追加インストールしてください。



・フォルダーの開き方や、Setup.exeのアイコンの形、ダブルクリック、そしてパソコン上のメッセージなどは、パソコンの環境や設定により異なります。

プレゼンテーションファイルを作成する

1 **[JPEGアドインソフト]のインストールを完了させておき（☞P.48）パソコンのPowerPointを起動させる**

2 **[ファイル]メニューから[開く]を選び JPEGに変換させたいPowerPointファイルを開く**

3 **本機とパソコンをUSBケーブルで接続する（☞P.44）**

4 **左上にある をクリックする（☞P.48）**

・"ドライブが存在しません"の警告が出る場合がありますが[OK]をクリックしてください。

5 **保存先にリムーバブルディスクを指定する**

・保存先の"SD"または"HDD(PCカード)"を選び、USB接続でパソコンが本体をリムーバブルディスクとして認識したドライブを指定してください。（☞P.46）



スライド名を変更するには…

・5桁半角英数を入力してください。
全角文字および半角文字のスペース、カタカナ、特殊記号などは使用しないでください。
・初期設定は"sheet"という名前になっています。

画像サイズを変更するには…

・テレビによって、画面の端が切れてしまう可能性があるため、初期値は90%サイズになっています。大きくしたい場合は100%サイズを選んでください。

フリッカ除去処理について…

・この機能は、テレビに表示したとき画像のちらつきを抑えるように画像処理を施すものです。項目をチェックしたままにしておくことをおすすめします。



6 **[作成]ボタンをクリックする**

・JPEGファイルへの変換が始まり、指定した保存先にフォルダーが保存されます。
その後、"作成されました。"のメッセージが表示されます。

7 **[OK]をクリックする**

8 **作成されたフォルダーを確認する**

a 保存先にフォルダーが作成されたことをパソコンで確認する
b USBケーブルを正しく取り外す（☞P.47）
c テレビモードで、フォルダー表示がピンクであることを確認する（☞P.26～28）

✷お願い✷

・「PRES_***]という名前のみ(*は任意の英数字）プレゼンテーション用のフォルダーとして認識されます。作成後パソコンでフォルダー名を変更する場合、末尾の3文字の半角英数字（***）以外は変更しないでください。
・Windows 98SE/Meをご使用の場合、作成できるJPEGファイルの数に制限があります。もし変換途中にエラーが発生した場合、一度パソコンを再起動し再度変換作業を行ってください。なお、変換できるファイルの数はご使用パソコンの環境（同時に起動しているアプリケーションの数、常駐ソフトの数等）により変化します。

パソコンモードで使う（その他）

JPEGアドインソフトをアンインストールする

Windows XPの場合は、インストールを行ったときと同じユーザー名でログオンしてください。

1 [スタート]ボタンをクリックし、[設定]→[コントロールパネル]をクリックする

・Windows XPの場合は、[スタート]→[コントロールパネル]とクリックしてください。

2 [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックする

・Windows XPの場合は、[プログラムの追加と削除]をクリックしてください。
・現在インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。

3 [JPEGアドインソフト]を選んで [追加と削除]をクリックする

・Windows Me/XPの場合は[変更と削除]をクリックしてください。

4 [OK]ボタンをクリックする

・本アプリケーションがアンインストールされます。
・キャンセルするには[キャンセル]をクリックしてください。

デバイスドライバーを再インストールする（Windows 98SE/Me）

本機がパソコンで認識されなかった場合、本機を認識するためのドライバーが正常にインストールされていない場合があります。下記の手順に従って、ドライバーを再インストールしてください。

1 [マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、メニューから[プロパティ (R)]をクリックする

・[システムのプロパティ]が表示されます。

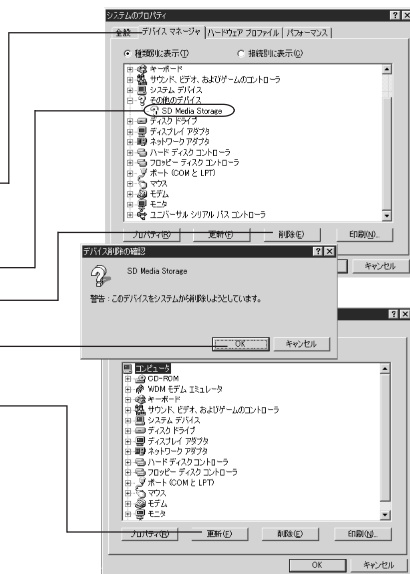
2 [デバイスマネージャ]タブをクリックする

3 [SD Media Storage]をクリックし[削除 (E)]をクリックする

4 [OK]をクリックする

5 [更新 (F)]をクリックする

・[新しいハードウェアの追加ウィザード]が起動しますので、45ページを参照してドライバーをインストールしてください。



HDD SAFETYスイッチが動作した場合

USB接続中は本機を平らで安定した場所でご使用ください。HDD SAFETYスイッチが動作した場合、下記の処置を行ってください。

●Windows 98SE/Meの場合

パソコンモードで、PC Card HDDにアクセス中にHDD SAFETY検出スイッチが動作するとパソコンの背景が青くなり、下記のようなメッセージが表示されます。

> ドライブ＊：：のディスク読み取りエラー
>
> シリアル番号＊＊＊のディスク＊＊＊を
> ドライブ＊：に入れてください。
>
> OKはEnter，キャンセルはEscキーを押してください：OK

a 本機の液晶ディスプレイには“SAFETY ドウサ オイテクダサイ”と表示されますので、**本機を平らで安定した場所に置いてください。**

b 本機の液晶ディスプレイの表示が“SD”または“HDD”の選択画面に変わり、HDDランプが点滅し始めたら**「Enter」キーを押してください。**

- パソコン画面が一旦黒くなったあとHDD SAFETY検出スイッチ動作前の状態に戻り元の処理を続けます。このときHDDランプが点滅している間はしばらくお待ちください。またHDDランプが消灯のままパソコン画面がHDD SAFETY検出スイッチ動作前に戻らない場合には再度「Enter」キーを押してください。それでもパソコン画面がHDD SAFETY検出スイッチ動作前に戻らない場合、USBケーブルを抜いてからパソコンをリセットしてください。
- 処理終了後、ご希望の処理が正常に終了しているか確認し、必要に応じて再度処理の実行をしてください。

●Windows 2000/XPの場合

パソコンモードで、PC Card HDDにアクセス中にHDD SAFETY検出スイッチが動作するとパソコンに下記のようなメッセージが表示されることがあります。

＜Windows 2000の場合＞



＜Windows XPの場合＞



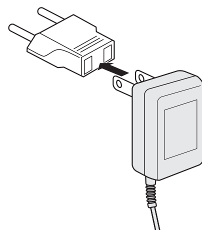
本機を平らで安定した場所に置いて
[OK][キャンセル][再実行][続行]いずれかのボタンを押してください。

- 処理は中断されますので再度処理を行ってください。

メモ

- PC Card HDDにアクセス中にHDD SAFETY検出スイッチが動作した後はパソコンでスキャンディスク（チェックディスク）を実行することをおすすめします。（☞P.11）

海外でお使いになるときは



AC アダプターは、自動で全世界の電源電圧（100 V、120 V、220 V、240 V)、電源周波数（50 HZ、60 Hz）に切り替わるように設計されています。ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、下表を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

AC アダプターは、全世界の電源電圧（100 V、120 V、220 V、240 V)、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけるように設計しています。市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
カナダ	A	アメリカ合衆国	A				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	ノルウェー	C	アイルランド	C	ハンガリー	C
イギリス	B, BF	フィンランド	C	イタリア	C	フランス	C
オーストリア	C	ベルギー	C	ギリシャ	C	ポーランド	B, C
オランダ	C	ポルトガル	B, C	スイス	B, C	ルーマニア	C
スウェーデン	C	ロシア	C	スペイン	A, C	ウクライナ	C
デンマーク	C	ベラルーシ	C	ドイツ	C	カザフスタン	C
アジア							
インド	B, C	モルジブ	B	インドネシア	B, C	バングラデシュ	C
シンガポール	B, BF	フィリピン	A, C, S	タイ	A, BF, C	ベトナム	A, C
大韓民国	A, B, C	中華人民共和国	A, B, BF, C, S	スリランカ	B	マカオ特別行政区	B, C
パキスタン	B, C	台湾	A				
オセアニア							
オーストラリア	S	トンガ	S	グァム島	A	ニュージーランド	S
タヒチ	C	フィジー	S				
中南米							
アルゼンチン	BF, C, S	バハマ	A	コロンビア	A	プエルトリコ	A
ジャマイカ	A	ブラジル	A, C	チリ	B, C	ベネズエラ	A
ハイチ	A	ペルー	A, C	パナマ	A	メキシコ	A
中東							
イスラエル	C	クウェート	B, C	イラン	C	ヨルダン	B, BF
アフリカ							
アルジェリア	A, B, BF	ザンビア	B, BF	エジプト	B, BF, C	タンザニア	B, BF
カナリア諸島	C	南アフリカ共和国	B, C	ギニア	C	モザンビーク	C
ケニア	B, C	モロッコ	C				

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

エラーメッセージについて

コピーモード（液晶ディスプレイ表示）

バッテリー イレテクダサイ	バッテリーを入れてください。バッテリーがないと電源が入りません。
カード　アリマセン	カードを挿入してください。
データ　アリマセン	カードにデータが記録されていません。
ショキカ　エラー	HDD/PC カードの初期化中にエラーが発生しました。一度電源を入れなおした後、HDD/PC カードを挿入しなおしてください。それでもエラーが発生する場合は、フォーマットして（☞ P.25）再度挿入してください。再度エラーが発生する場合は、カードが壊れている可能性があります。
フォーマット　エラー	カードのフォーマット中にエラーが発生しました。カードを挿入しなおしてフォーマットしてください。(☞ P.24,25)
アキヨウリョウ　フソク	コピー先の空き容量が不足しています。不要なファイルを消去するか十分な空き容量のあるカードを挿入してください。
プロテクトサレテイマス	カードがプロテクトされています。操作を続ける場合にはプロテクトを解除してください。詳細は、カードの取扱説明書をご参照ください。
コピー　エラー　ドレカ キーヲオシテクダサイ	コピー中にエラーが発生しました。どれかキーを押した後にリセット操作（☞ P.55）をするか、一度電源を入れなおした後もう一度コピーしてください。
SAFETY ドウサ オイテクダサイ	HDD SAFETY 検出スイッチが働き自動的に HDD を停止状態にして保護しています。本機を平らで安定した場所に置いてください。
FAT32 ノ SD カード ツカエマセン	FAT32 でフォーマットされた SD メモリーカードは使用できません。「フォーマットしますか？」と表示されます。必要なファイルをパソコンに保存した後フォーマットしてください。(☞ P.24,25)
セキュアファイル コピーデキマセン	セキュアファイル（著作権を含む音楽ファイル）はコピーできません。
BATT.　ナクナリマシタ	バッテリーが無くなりました。電源が切れます。バッテリーを充電してください。
コピー　キャンセル BATT.　ナクナリマシタ	バッテリーが無くなりました。コピーをキャンセルして電源が切れます。バッテリーを充電してください。
PC カード フォーマットデキマセン	PC カードはフォーマットできません。

次ページへつづく

エラーメッセージについて（つづき）

パソコンモード（液晶ディスプレイ表示）

AC アダプタ セツゾクシテクダサイ	AC アダプターを接続してください。
ツウシンチュウ キリカエ　デキマセン	パソコンとの通信中のためPC Card HDD/PC カードとSD メモリーカードの切り替えができません。通信終了後もう一度切り替えてください。
バッテリー イレテクダサイ	バッテリーを入れてください。
USB セツダンシマス ↓ USB ケーブル ヌイテクダサイ	通信が切断されました。USB ケーブルを抜いてください。バッテリーとAC アダプターの装着を確認した後、もう一度USB ケーブルを接続してください。
モードキリカエ オマチクダサイ	モードを切り替えています。しばらくお待ちください。
POWER OFF オマチクダサイ	終了処理を行った後に電源が切れます。
SAFETY ドウサ オイテクダサイ	HDD SAFETY 検出スイッチが働き自動的にHDD を停止状態にして保護しています。本機を平らで安定した場所に置いてください。

テレビモード（テレビ画面表示）

カードがありません	カードを挿入してください。
データがありません	カードまたはフォルダー内に、データが記録されていません。
初期化　エラー	HDD/PC カードの初期化中にエラーが発生しました。一度電源を入れなおした後、HDD/PC カードを挿入しなおしてください。それでもエラーが発生する場合は、フォーマットして（☞ P. 25）再度挿入してください。再度エラーが発生する場合は、カードが壊れている可能性があります。
フォーマット　エラー	カードのフォーマット中にエラーが発生しました。カードを挿入しなおしてフォーマットしてください。（☞ P. 24, 25）
再生できる ファイルがありません	フォルダー内に再生できるJPEG、TIFF ファイルがありません。
空き容量が足りません	コピー先の空き容量が不足しています。不要なファイルを消去するか十分な空き容量のあるカードを挿入してください。
セキュアファイルは コピーできません	セキュアファイル（著作権を含む音楽ファイル）はコピーできません。

テレビモード（テレビ画面表示）

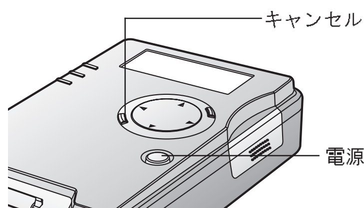
コピー　エラー	指定された操作が正常に実行されませんでした。リセット操作（下記参照）をするか、電源を入れなおした後再度実行してください。
消去　エラー	
プロテクト　エラー	
設定ファイルが 読み込めません	
表示　エラー	画像ファイルを表示することができませんでした。未対応フォーマットかファイルが壊れています。
SAFETY機能　動作 本体を置いてください	HDD SAFETY検出スイッチが働き自動的にHDDを停止状態にして保護しています。本機を平らで安定した場所に置いてください。
ファイルフォーマットが異なるため保存できません	回転した画像を保存できないファイルです。
FAT32のSDカードは 使えません	FAT32でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。
選択できません	スライドショーでは、フォルダーを選択できません。ファイルを選択してください。
バッテリーがなくなりました	バッテリーが無くなりました。処理をキャンセルして電源が切れます。バッテリーを充電してください。
コピー　キャンセル バッテリーがなくなりました	バッテリーが無くなりました。コピーをキャンセルして電源が切れます。バッテリーを充電してください。
データが 選択されていません	スライドショー・プレゼンテーション・コピー・削除・プロテクトのファイル選択時に、選択されずに終了しました。もう一度選択してください。
バッテリーが足りません 電源を切ってください	バッテリーが少なくなっています。電源を切ってバッテリーを充電してください。
消去できないファイルが ありました	プロテクトファイル、再生できないファイルは消去できません。
カード/ファイルが プロテクトされています	カードまたはファイルがプロテクトされています。操作を続ける場合にはプロテクトを解除してください。

リセット機能について

本機を操作中にエラーが発生して動作しなくなった場合、下記の要領でリセットを行ってください。

キャンセルボタンと電源ボタンを同時に5秒間押し続ける

・ 本機がリセットされます。もう一度操作を行ってください。



故障かな？と思ったら

本機を使っていて、故障かな？と思ったら、以下のことを確認してください。処置をしても直らない場合は、お買い上げの販売店、または、お近くの「修理ご相談窓口」にお問い合わせください。(☞ P.59～61)

1：電源が入らない

1－1：バッテリーやAC アダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してください。

1－2：バッテリーは十分に充電されていますか。十分に充電されたバッテリーをお使いください。

1－3：電源をON する際は、電源ボタンを2 秒以上長押ししてください。

2：電源が入っていてもすぐに切れる。

2－1：バッテリーが消耗していませんか。バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを入れてください。

2－2：バッテリーの充電は、推奨温度にて行ってください。－5℃以下の低温では充電できません。

3：電源が勝手に切れてしまう。

3　　：バッテリーのみでご使用の場合、操作しない状態が5 分以上続くと電源が切れるしくみになっています。再度電源を入れなおしてください。

4：電源が切れない。

4－1：ファイルの読み込み中やコピー中は電源を切ることはできません。SD,HDD のアクセスランプが消えてから電源を切ってください。

4－2：HDD SAFETY 検出スイッチが動作中は、電源を切ることはできません。本機を平らで安定した場所に置いてから切ってください。

5：コピーできない。

5－1：カードが正しく装着されていますか。カードを入れなおしてください。

5－2：コピー先の空き容量は十分ですか。不要なデータは消去してください。

5－3：HDD SAFETY 検出スイッチが作動していませんか。本機を平らで安定した場所に置いてください。

5－4：セキュアファイル（著作権を含む音楽ファイル）は、コピーできません。

5－5：SD メモリカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると書き込みできません。

6：ファイルやフォルダーが見つからない。

6－1：コピーモードやテレビモードにてSD メモリーカードのデータをPC Card HDD にコピーすると「CARD****」のフォルダーにコピーされます。フォルダーを開いて確認してください。

6－2：PC Card HDD の「CARD****」データをSD メモリーカードに一括あるいは選択コピーすると「CARD****」のフォルダーが消え、ファイル構造に従ったルールにてコピーされます。詳しくは、14 ページの“コピー・バックアップについて”をご参照ください。

７：テレビと接続しても、画像が出ない。

７－１：COPY/TV MODE 切り替えスイッチが、TV に設定されていますか。
７－２：映像ケーブルが正しく接続されていますか。
７－３：テレビ側の入力設定が、ビデオモードになっていますか。
７－４：パソコンとＵＳＢ ケーブルで接続されていませんか。 テレビで画像を見る時は、ＵＳＢ ケーブルを接続しないでください。
７－５：テレビ方式の選択が、ＮＴＳＣ になっていますか。コピーモードで選択を確認してください。

８：画像が表示できない。

８－１：カードが正しく装着されていますか。カードを入れなおしてください。
８－２：ファイルの拡張子がJPG・TIF・MOV 以外のファイルやデータが壊れているものは表示できません。
８－３：フォルダー内の画像を表示するには、フォルダーを順次開いてJPG・TIF・MOV 等の画像ファイルを選択してください。
８－４：ファイルによっては、画像表示に時間がかかる場合があります。

９：動画が再生できない。

９　：本機では、QuickTime フォーマット形式データの先頭画面しか再生できません。

１０：USB 接続でデータの読み書きができない。

１０－１：ＵＳＢ 接続時は、本機にバッテリーを挿入してＡＣ アダプターを使用してください。
１０－２：ＵＳＢ ケーブルは正しく接続されていますか。
１０－３：読み書き先のカードの選択はできていますか。

１１：PC Card HDD のデータが読み書きできない。

１１－１：PC Card HDD は、本機に正しく装着されていますか。
１１－２：HDD SAFETY 検出スイッチが作動していませんか。本機を平らで安定した場所に置いてください。
１１－３：PC Card HDD は、精密小型のハードディスクです。落下、衝撃を与えると故障、誤動作、記録内容の消失の原因となります。データの読み書きや動作に異常が発生した場合は、ただちにスキャンディスクを実行し、バックアップを行ってください。

１２：カードの空き容量が少ない

１２-１：カードに書き込んでいるデータ以上に空き容量が極端に少なくなっている場合、パソコンにて再度容量チェックを行ってください。本機で表示できないデータが入っています。
１２－２：バックアップ設定がオンになっているため、利用可能領域が半分になっています。

１３：プレゼンテーション用のフォルダが見つからない

１３－１：PC Card HDD の場合、保存先指定が「CARD****」になっていませんか。
１３－２：認識しないフォルダ名に変更していませんか。

１４：パソコンが起動しない

１４　：ＵＳＢ ケーブルが接続されていませんか。ＵＳＢ ケーブルを本機から取り外してください。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！
■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げから本体1年間
「本体」にはソフトウェアの内容は含みません。

■修理を依頼されるとき
この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書をそえてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、SD メディアストレージの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7 年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	SDメディアストレージ
品番	SV－PT1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

サービス窓口案内

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区					
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広**	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477	**函館**	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151				

サービス窓口案内　（つづき）

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

東北地区

青森 青森市第二問屋町 3-7-10 ☎ (017)739-9712	**岩手** 盛岡市羽場13地割 30-3 ☎ (019)639-5120	**山形** 山形市流通センター 3丁目12-2 ☎ (023)641-8100
秋田 秋田市御所野湯本 2丁目1-2 ☎ (018)826-1600	**宮城** 仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎ (022)387-1117	**福島** 福島県安達郡本宮町 字南ノ内65 ☎ (0243)34-1301

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町 194-20 ☎ (028)689-2555	**埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960	**山梨** 甲府市下飯田2丁目 1-27 ☎ (055)222-5171
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎ (027)352-1109	**千葉** 千葉市中央区 星久喜町172 ☎ (043)208-6011	**神奈川** 横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎ (029)225-0249	**東京** 東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780	**新潟** 新潟市東明1丁目 8-14 ☎ (025)286-0171
つくば つくば市花畑2丁目 8-1 ☎ (0298)64-8756		

中部地区

石川 石川県石川郡 野々市町稲荷 3丁目80 ☎ (076)294-2683	**長野** 松本市大字笹賀 7600-7 ☎ (0263)86-9209	**岡崎** 岡崎市岡町南久保28 ☎ (0564)55-5719
富山 富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705	**静岡** 静岡市西島765 ☎ (054)287-9000	**岐阜** 岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010
福井 福井市開発4丁目 112 ☎ (0776)54-5606	**名古屋** 名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	**高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613
		三重 久居市森町字北谷 1920-3 ☎ (059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目 2-1 ☎ (077)582-5021	**大阪** 大阪市北区本庄西 1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都 京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎ (075)672-9636	**奈良** 大和郡山市椎木町 404-2 ☎ (0743)59-2770	**兵庫** 神戸市中央区 琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口** 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎ (083)986-4050
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎ (086)292-1162	

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-9477	**高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎ (088)866-3142	**愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎ (089)971-2144
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎ (088)698-1125		

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草** 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎** 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎ (0985)85-6530	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0902

仕様

SD メディアストレージ

電源	AC アダプター使用時	:DC 4.8 V
	バッテリー使用時	:DC 3.7 V
消費電力	AC アダプター使用時	:2.2 W (ピーク 3.4 W)
	バッテリー使用時	:2.2 W (ピーク 2.9 W)

対応メモリカード

SD カードスロット SD メモリーカード、マルチメディアカード

PC カードスロット PC Card HDD (2 GB、5 GB)
SD メモリーカード＊
マルチメディアカード＊
CF カード＊
スマートメディア＊
メモリースティック＊
マイクロドライブ (340 MB, 1 GB) ＊

<＊については、各メモリカードに対応したアダプターが必要です>

COPY 可能データ セキュアファイル (著作権を含む音楽ファイル) を除くすべてのファイルおよびフォルダー

再生画像形式 ベースライン JPEG、TIFF (RGB 非圧縮)、
Motion JPEG(QuickTime)先頭画面

再生画像サイズ 80 x 60 ～5120 x 3840 ピクセル

コピー機能

コピーモード SD メモリーカード(マルチメディアカード) →PC Card HDD(PC カード)へ一括コピー
PC Card HDD(PC カード)→SD メモリーカード(マルチメディアカード) へフォルダー選択コピー

テレビモード SD メモリーカード(マルチメディアカード) →PC Card HDD (PC カード) へファイル、フォルダーの選択及び一括コピー
PC Card HDD(PC カード)→SD メモリーカード(マルチメディアカード) へファイル、フォルダーの選択および一括コピー

再生機能 全画面再生
サムネイル再生 (4 x 6 表示)
アルバム再生 (6 画面および 9 画面表示)
スライドショー (自動再生)
回転、拡大 (2 倍/4 倍)
プレゼンテーション

消去機能 ファイル、フォルダーの選択消去及び一括消去

保護機能 HDD SAFETY 検出スイッチによる PC Card HDD 保護
ファイルのバックアップ保護
ファイルの誤消去プロテクト

映像出力	コンポジット出力：NTSC 方式/PAL 方式、1Vp-p 75 Ω S 出力：Y 及び C 信号、NTSC 方式/PAL 方式、1Vp-p 75 Ω
外形寸法	約幅 73 x 高さ 25.8 x 奥行 107.5 mm
本体質量	約 160 g（PC Card HDD、バッテリーパック含まず）
使用時質量	約 250 g
推奨使用温度	0 ℃～35 ℃
許容相対湿度	10 %～80 %
バッテリー持続時間	連続使用 コピーモード約 80 分 テレビモード約 80 分
PC インターフェース	USB1.1
対応 OS	Windows 98SE、Windows 2000、Windows Me、Windows XP
対応機種	IBM PC/AT 互換機

AC アダプター

電源	AC100-240 V 50/60 HZ
入力容量	12 VA（100 V 時）/17 VA（240 V 時）
出力	DC 4.8 V

質量	約 60 g
外形寸法	約幅 50 x 高さ 26 x 奥行 70 mm

バッテリーパック

最大電圧	4.2 V
公称電圧	3.7 V
定格容量	1000 mAh

質量	約 28 g
外形寸法	約幅 35 x 高さ 7 x 奥行 53 mm

PC Card HDD

容量	5 GB
入力電圧	3.3 V/5 V
インターフェース	PCMCIA Type Ⅱ

質量	約 55 g
外形寸法	約幅 54 x 高さ 5 x 奥行 86 mm

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	SV-PT1
販売店名	☎（　　　）		
お客様ご相談窓口	☎（　　　）		

松下電器産業株式会社

ＡＶＣネットワーク事業グループ

〒５７１－８５０５　大阪府門真市松生町１番４号

システム事業グループ

〒５７１－８５０３　大阪府門真市松葉町２番１５号

M1002-0
LSQT0621A